

淨土江遺跡Ⅱ

宮崎市文化財調査報告書

1993

宮崎市教育委員会

序

浄土江遺跡は、宮崎市街地の東部、JR宮崎駅に近接する宮崎刑務所跡地を公園や文化施設として再開発する際に、昭和52年から昭和54年にかけ3次の発掘調査を行いました、25基の住居跡や溝状遺構を検出し、古墳時代から奈良時代にかけての生活遺構としては宮崎において初めての資料を提供いたしました。

今回は、宮崎広域都市計画事業東部土地区画整理事業に伴いまして、第1次～第3次調査地に接する刑務官舎跡地の発掘調査を行いました。その結果、溝状遺構、住居跡等を検出し前3次の調査結果を補足する内容と新たに集落の立地についての資料が得られました。

宮崎市では、平成4年7月25日に国指定史跡蓮ヶ池横穴群を含む「蓮ヶ池史跡公園」を開園すると共に、考古・歴史・民俗・神話を展示する「みやざき歴史文化館」を開館いたしまして、文化財の収蔵・保護ばかりでなく、広く皆様に自然や史跡、歴史に親しんでいただきたいと考えております。

最後に、粘土質の発掘に苦労された作業員の方に感謝いたしますと共に、本報告書が関係各位の参考になれば幸いです。

平成5年3月

宮崎市教育長 柚木崎 敏

例　　言

1. 本書は、宮崎市教育委員会が、平成3年10月28日～平成3年12月26日までに実施した浄土
江遺跡（第4次調査）の発掘調査報告書である。

2. 調査組織

調査主体	宮崎市教育委員会		
調査総括	文化振興課	主 幹	野間 重孝
庶 務	"	主 事	永井 淳生
	"	"	井上 治美
調査員	"	主 事	米良 明信
	"	"	中山 豪
補助員	"	嘱 託	椎 由美子
	"	"	久富なをみ

3. 本書の執筆は、中山が行った。

4. 本書における住居跡の名称番号は、第1次調査検出分を100番代、第2次調査検出分を200番代、第3次調査検出分を300番代、第4次調査検出分を400番代としている。また、溝状構について前報告書と連番としている。

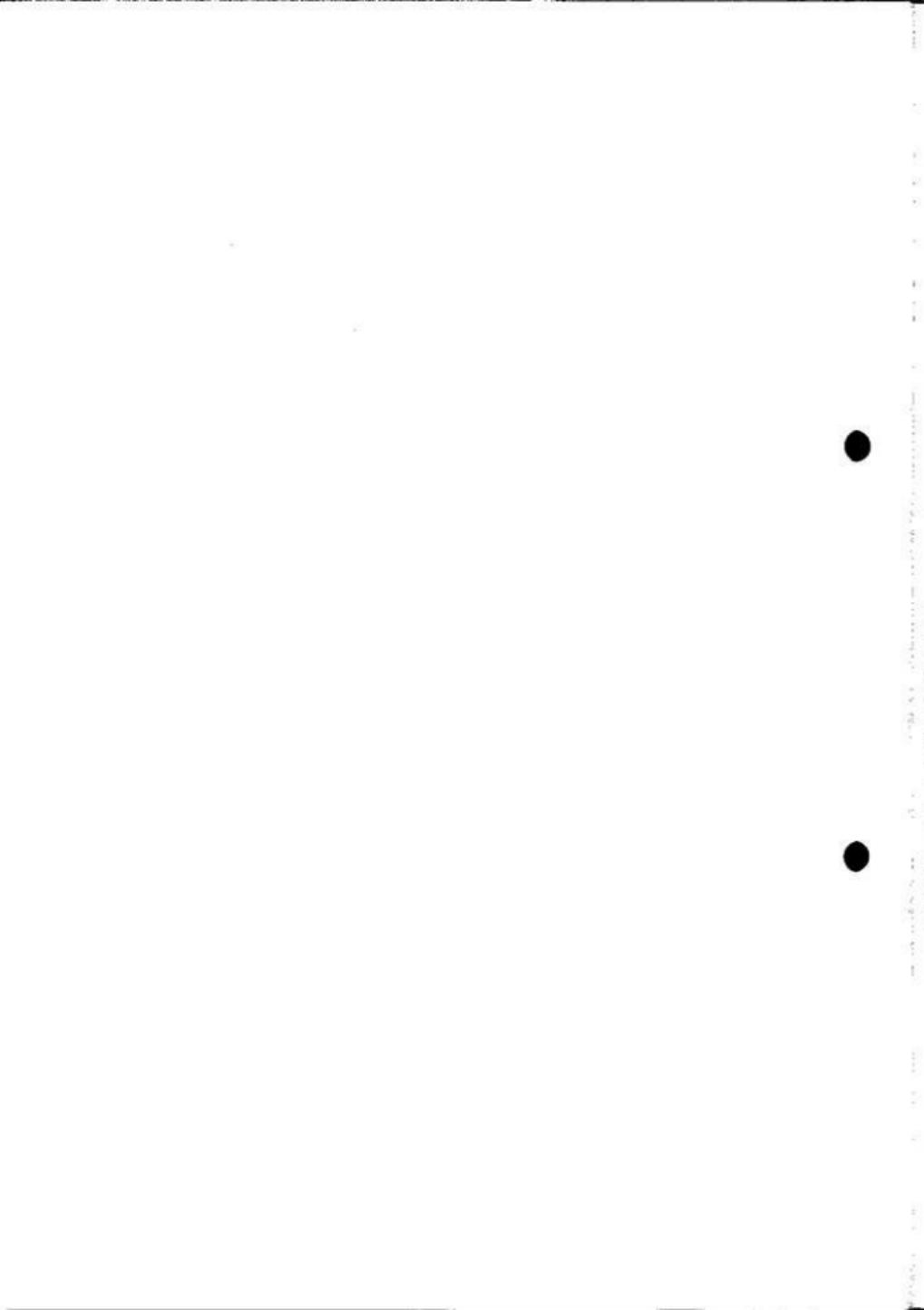
5. 掲載図面の実測、製図、図版の作成は中山、米良、椎、久富が行った。

6. 写真撮影は、中山が行った。

7. 本遺跡出土遺物は、宮崎市教育委員会で保管している。

目 次

I.はじめに	1
1. 遺跡の位置と環境	1
2. 調査に至る経緯	1
II.調査の記録	3
1. 調査の概要	3
2. 検出遺構	3
(1) 住居跡	3
(2) 溝状遺構	6
(3) 大型溝状遺構	7
3. 出土遺物	9
(1) 土器実測図	9
(2) 土器観察表	27
III.まとめ	35
図 版	37



I. はじめに

1. 遺跡の位置と環境

浄土江遺跡は、宮崎市浄土江町108番地外に位置しており、南方1kmに大淀川、東方2kmにて日向灘、南東2kmにて大淀川河口に達する。この地は、大淀川等の氾濫によって宮崎平野の沖積地が進行して行く中で形成された微高地や自然堤防の一つである。

当遺跡の周辺は、低地が多いことと早くから宅地化が進んだため遺跡や散布地はほとんど知られていないが、宮崎駅を挟んだ西側には広島古墳群が存在していたことが知られている。この古墳群から出土した、内行花文鏡及び画文帶神獸鏡片は宮崎県総合博物館に保存されており、貴重な資料となっている。また、当遺跡との関係についても興味のもたれるところである。

昭和18年に出土された「宮崎刑務所構内遺構及び遺物に就て」には、当遺跡からの布目瓦や石塔婆の存在が述べられている。また、この地を「浄土江町」と呼ぶことや、この地にゆかりの深い浄土院という寺院が現在一の宮町に存在することなどの事例によって当地が寺院跡であることが推測される。

2. 調査に至る経緯

宮崎市では、宮崎広域都市計画事業東部土地区画整理事業を行うにあたり刑務官官舎跡地の、文化財の有無照会が宮崎市の区画整理課から文化振興課へ提出された。文化振興課では、計画地が浄土江遺跡の隣接地であり、第1次～第3次の調査結果から、古墳時代から奈良時代の遺構の存在が確実であるため、第4次の発掘調査を行うこととした。

第1次発掘調査 昭和52年8月16日～8月26日

A～Fの調査区を設定しトレントにて調査を行い、A-2トレントで3基の住居跡が切り合った形で確認され、E区では2基の住居跡、F-3トレントで1基の住居跡を検出している。

第2次発掘調査 昭和53年11月28日～12月28日

刑務所跡地西側外壁沿いに南北90m、幅15mの面的調査を行い、10基の住居跡と10本の溝状遺構を検出している。

第3次発掘調査 昭和54年10月15日～11月3日

刑務所跡地西側外壁に沿った市道下を南北120m、幅8mの面的調査を行い、9基の住居跡と第2次調査時に検出した溝状遺構の延長を2本と新たに1本の溝状遺構を検出している。

昭和56年に発行された「浄土江遺跡」（宮崎市文化財調査報告書第6集）の中で土器型式より浄土江I・II・III式を設定し、それぞれに6世紀前葉から後葉、7世紀中葉から後葉、8世紀前葉から中葉に位置づけし、住居跡では炉から竈への変化が指摘されている。



第1図 浄土江遺跡位置図

II. 調査の記録

1. 調査の概要

今回の調査は、区画整理事業の用地買収に先行して実施したため立木等の補償が済んでおらず、調査区の設定では立木を残した、変形かつ非連続なものとなった。また、第3次調査時ににおいては、コンクリート製の壁であったものが現状では板塀となっており、その取り壊したコンクリートの塊を発掘区内に埋め込んだ際の溝や官舎時の焼却ゴミを埋め込んだゴミ穴、官舎の基礎、井戸等が点在し遺構の確認は困難であった。

調査は北から順に、立木に囲まれた部分によって1～6区に分割した。当初、6区において遺構の広がりを確認したところ、市道に面した東側を中心に2基の住居跡（405、406号）と土坑、溝状遺構（21、22号）を検出し、西側に入れたトレンチでは何も検出されなかった。このため、調査の主体を市道に面した東側に置いたところ、1区では2基の住居跡（401、402号）と溝状遺構（16、17号）、2区では1基の住居跡（403号）、3区では2基の住居跡（404、407号）と溝状遺構（18、19、20号）を検出した。この後更に1～3区の西側にトレンチを入れたところ、1区においては何等検出されなかつたが、2区では広く深い溝状遺構とそれに接続する溝状遺構（23号）を検出し、3区に置いても2区につながる形で溝状遺構を検出した。4区の北側では浅く広い溝状遺構と住居跡（408号）の一部が検出されたが、南半分は5区と同様に、立木の移植や官舎の基礎等の搅乱が激しく調査不能であった。

今回調査区の基本土層は、I層—表土、II層—茶褐色粘質土、III層—紫黒色粘質土、IV層—明黄褐色粘質土、となっているが大型溝状遺構内ではIII、IV層が互層となっている。II、III層内において遺構の検出は出来なかつたため、基盤層となるIV層において遺構の検出を行つた。

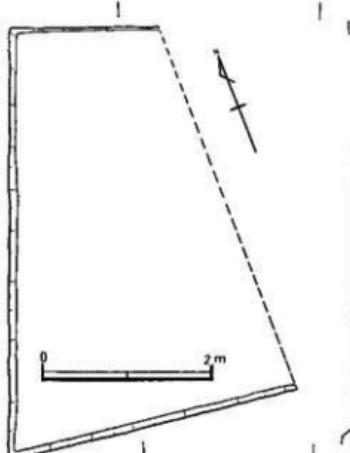
2. 検出遺構

(1) 住居跡

401号住居跡

1区の東側中央に位置しているが、井戸や官舎の基礎に床面まで破壊されており、壁の立ち上がりが若干残ることより検出出来たが、柱穴等は確認出来なかつた。南北辺約5mの台形状になるとと思われる。

出土遺物は極く少量の土器片のみであった。



第2図 401号住居跡実測図

402号住居跡

1区の東南角に位置している。北東の角から北側の辺の半分を17号溝により切られている。4.8×5.9mの長方形を呈し、東南部を除く3角に柱穴が床面より30cm掘り下げた形で検出された。住居跡内部には、ほぼ中央部に40×90cmの楕円形、南西隅に1辺50cmの三角形、南辺中央に1辺40cmの三角形、北西隅に1辺30cmの方形に焦上が見られた。また、壁際には10~20cmの小さな溝が見られたが、南側の西半分には検出出来なかった。

出土遺物には、土師器の壺、甕、瓶、鉢、高坏、蓋坏、塊、須恵器の蓋坏が見られる。

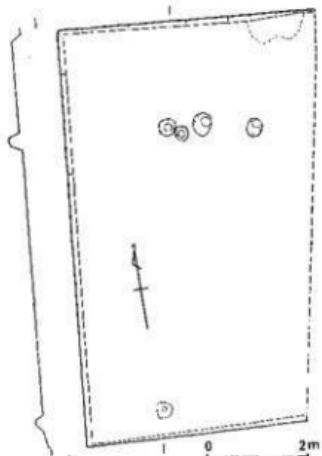


第3図 402号住居跡実測図

403号住居跡

2区の北東隅に位置しているが、外壁により約半分を発掘出来なかったうえ、建物の基礎やゴミ穴により床面の大半を破壊されていた。南北長8mと大型であるが、確実な柱穴は確認されなかった。北側辺の中央に土器を含む赤色土の塊が見られたが、煙道が無いことから炉が壁際に造られたと考えられる。

出土遺物には、土師器では赤色土から煤の付いた壺、高坏、須恵器の壺の口縁部が見られる。

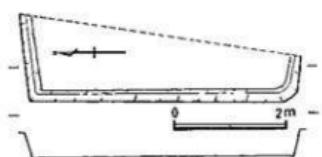


第4図 403号住居跡実測図

404号住居跡

3区の東側中央に位置し、南北長4.8mで、床面の壁際に溝を巡らしてある。官舎跡地外壁により約3分の2が発掘出来なかったため、柱穴等は検出されなかった。

第3次調査の305号と同一と思われる。

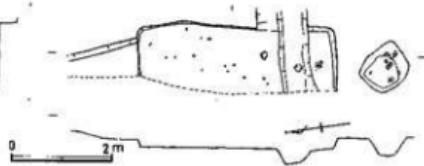


第5図 404号住居跡実測図

405号住居跡

6区の東側中央部で406号の北側に位置する。21号溝に北西角を切られ、22号溝に南側を切断され、コンクリートの埋設溝に西側の大半を破壊されている。

南北長3.8m、柱穴等の遺構は検出されなかった。

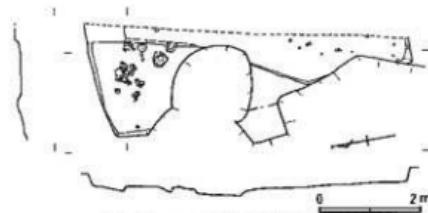


第6図 405号住居跡実測図

406号住居跡

6区の東側中央部で405号の南側に位置する。東側の大半は外壁により調査不能であり、発掘部分もゴミ穴やコンクリートの埋設溝によりずたずたの状態であったが、北西隅に良好な形で土器が残されていた。また、床面に10cmほどの段差が直線的に認められたことから他の住居跡と切り合っている可能性が高いが、証拠が無いため本報告書では1基として扱っている。

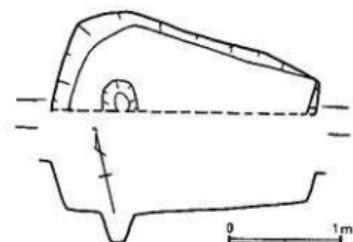
出土遺物には、土師器の壺、鉢、碗、がある。



第7図 406号住居跡実測図

407号住居跡

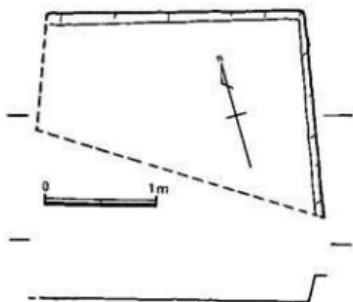
3区の東南隅に位置し、18、20号溝に切られている。1辺2.4mと小型であるが床面に柱穴が1つ検出された。



第8図 407号住居跡実測図

408号住居跡

4区のほぼ中央に位置し、北東の角を検出しただけである。このため、柱穴等の遺構は確認されなかった。



第9図 408号住居跡実測図

(2) 溝状遺構

今回の調査においても溝状遺構が検出され、住居跡との切り合いや溝状遺構どうしの切り合いも見られた。幅については、40~60cmと1m、深さは20cmと60~80cmとに大別されるが、幅や深さによる用途の区分は不明である。また、2区から4区にかけて徐々に浅くなってゆく、大型溝状遺構との関係が注目される。

出土遺物は碎片ばかりであり、時期の特定は不能であった。

16号溝状遺構

1区の北側に掘り込まれ、西から東へ徐々に深くなり、最大幅50cmであるが、削平を受けているため深さは約20cm程度を残すだけである。

17号溝状遺構

1区のほぼ中央に掘り込まれ、402号住居跡を切っている。東西方向で幅約1m、深さ約80cmとやや大型である。

溝内より須恵器模倣の坏身が出土したが、402号住居内のものと同一個体であった。

18号溝状遺構

2区のほぼ中央を北から南方向に深くなり、幅約40cm、深さ約60cmと狭深型である。調査区内では407号住居跡に接しないが、延長上では切り合うと思われる。北の端部に径約50cmのPITと切り合っている。

19号溝状遺構

2区のほぼ中央で、18号溝状遺構の中ごろより枝分かれしている。北から南へ向け深くなり、幅も40~80cmと広くなっている。深さ約14cmと18号とはかなりの差を示している。

20号溝状遺構

2区の東角にごくわずか確認された。東西方向のものと思われ、幅約60cm、深さ約20cmであるが、407号住居跡を切り、18号溝状遺構とその延長上で切り合うものと思われる。

21号溝状遺構

6区の北端に405号住居跡を切る形で南北方向に掘られ、深さ約18cm、幅は擾乱のため不明である。

22号溝状遺構

6区の北側に405号住居跡を切る形で、東西方向に掘り込まれている。住居跡床面で幅約60cm、深さ約30cmを計ることから、402号住居跡を切った17号溝状遺構とほぼ同じ規模になると考へられる。

23号溝状遺構

2区の西端に、東西方向に大型溝状遺構に接する形で掘り込まれている。幅約30cm、深さ約28cmで、西側の大型溝状遺構に向かって深くなっている。

(3) 大型溝状遺構

2区の中央部、3区の中央部、4区の東側にかけて、南から北に深くなっている。溝状遺構の埋土は紫黒色粘質土と明黄褐色粘質土の互層となっていること、明黄褐色粘質土層には砂が混じっていることが特徴である。

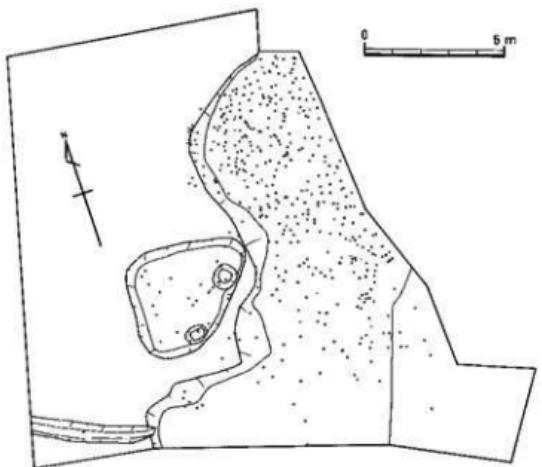
2区の部分については東側の上端は確認出来なかったが、西側、北側の明黄色粘質土の状況より、なだらかに丸くなることが推測されるが、3区の北端部からすると急な傾斜を持つ可能性もある。さらに、1区の東西方向に入れた確認トレンチにおいては紫黒色粘質土と明黄褐色粘質土の互層は確認されていないこと、東側の土層には中間の紫黒色粘質土層が途中で切れていることなどから、大型溝状遺構は2区の北端で終わっていると考えられる。西側斜面中央に、径約80cm、深さ約20cmと径約60cm、深さ約30cmの2つのPITをもつ、1辺約4mの角丸三角形状の落ち込みが認められた。2区の土器の出土状況はこの掘り込みから北側に集中しており落ち込みとの強い関連がうかがえ、掘立て柱の水汲み場若しくは洗い場の様な建物があった可能性が考えられる。出土土器は、I、II、III期のものすべてが含まれている。

3区は北側%の部分と南側%の部分とに大別される。北部分は溝の中に中洲状の高まりがあることと、東側の落ち込みが急なことが特徴である。一方南部分はゆるやかな傾斜で底部直前に段をもつ土手と中洲状の高まりに沿って丸くなる下端が特徴である。

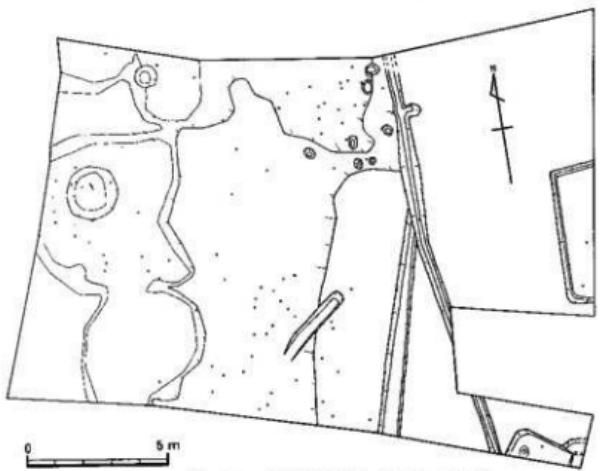
また、東側斜面に8基の小PIT群、北側に径約80cm、深さ約40cm、中央西側に径約160cm、深さ約50cmの大PIT 2基を検出した。小PIT群は深さ、方向に規則性は見出せなかった。大PITは共に紫黒色の粘質土を埋土としており、炭や炭化した木片が混入していた。この2つのPITは中洲状の高まりを挟む形で位置しているが、北側のものが柱穴的なものであるのに対し、中央のものは円筒形の水溜めのようなもの感がある。出土遺物は溝の全体に点在しており、集中部などは見られなかった。

4区では、上部幅約7m、底部幅約1.7m、深さ約25cmの、広く浅いだらっとしたものとなっている。出土遺物は極く僅かしか無いうえ、溝状遺構の底部には見られず、溝が埋まった後の段階のものが若干見られただけである。

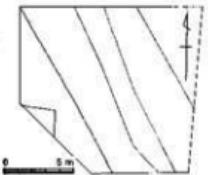
以上のことからこの大型溝状遺構は、2区から3区北部分にかけて深くなる水溜め状の部分と3区南部分から4区にかけてのなだらかな溝状遺構部分とで構成されている。また、溝状遺構部は降雨時の排水に使用することが主目的であり、水溜め状の部分には排水された水が入り、皿洗い等に利用されていたものと考えられる。



第10図 大型溝状造構（2区）実測図



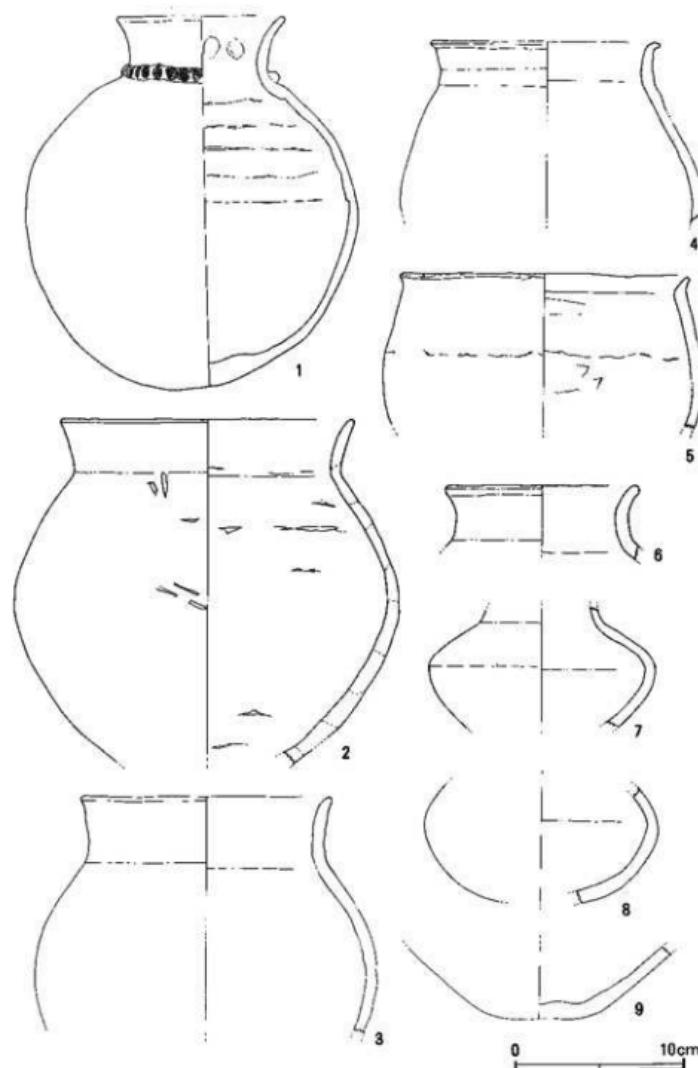
第11図 大型溝状造構（3区）実測図



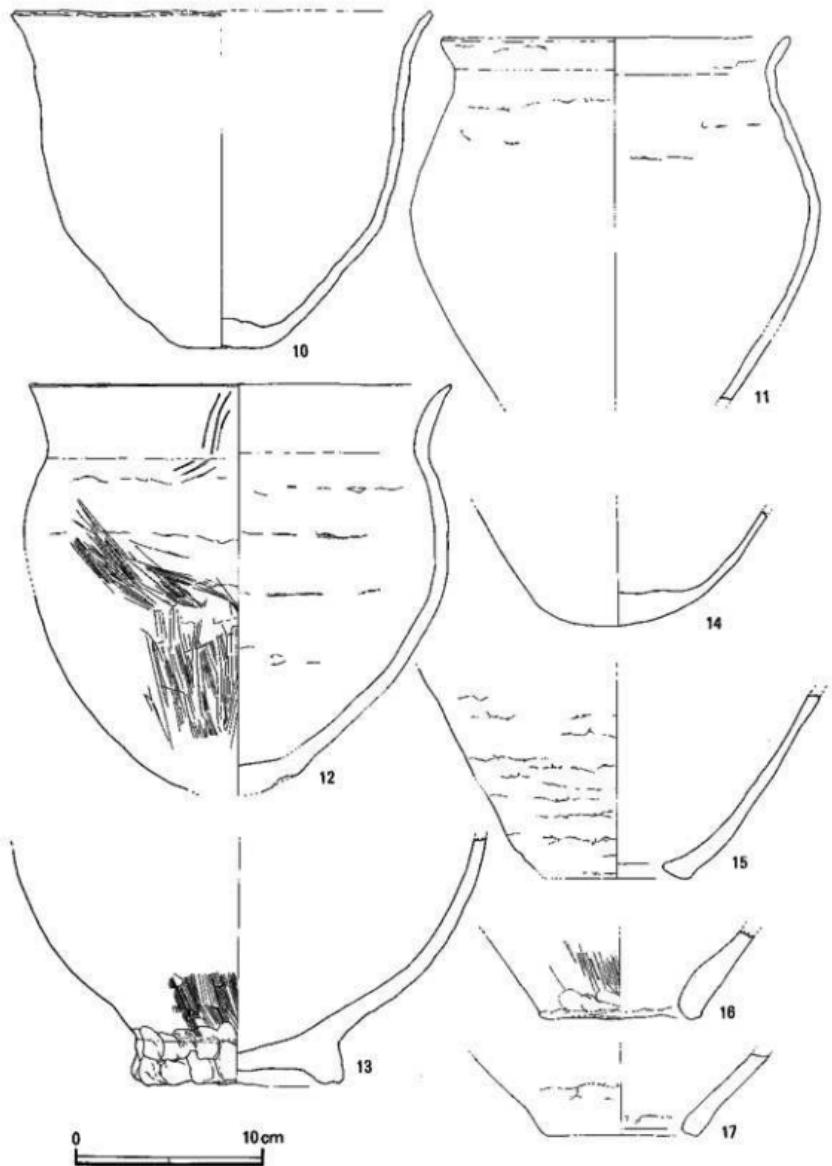
第12図 大型溝状造構（4区）実測図

3. 出土遺物

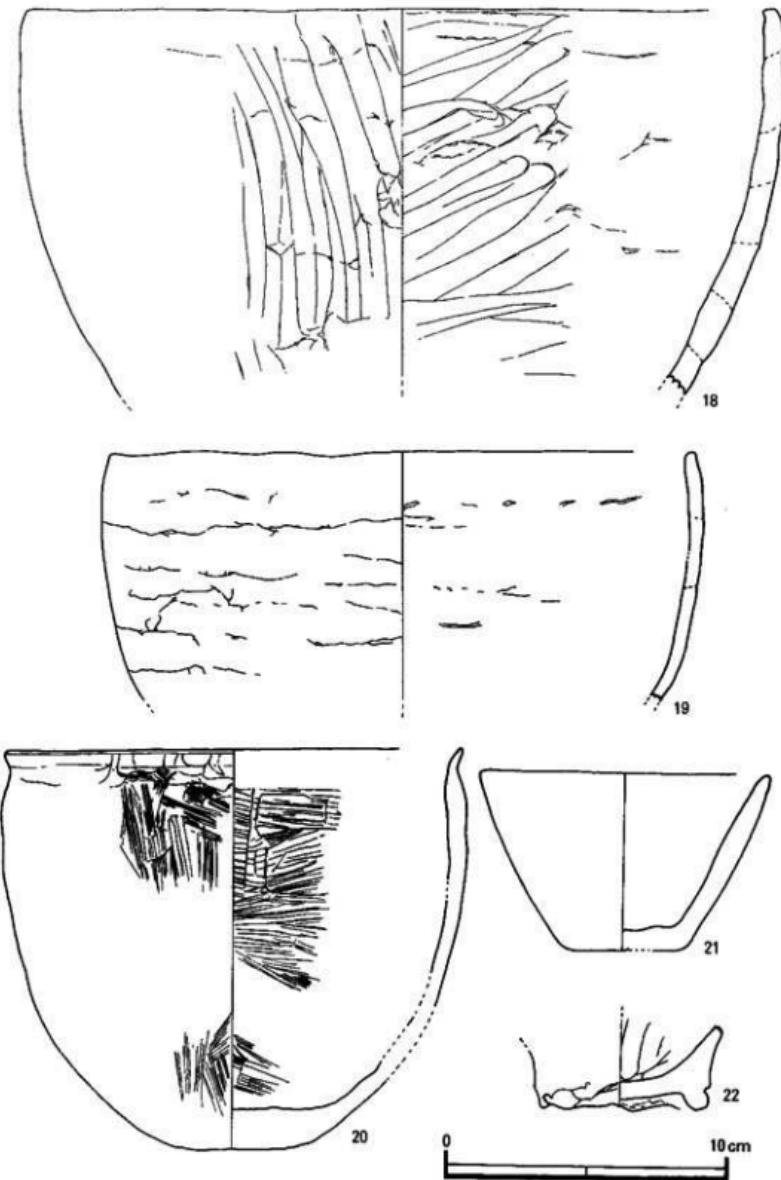
(1) 土器実測図



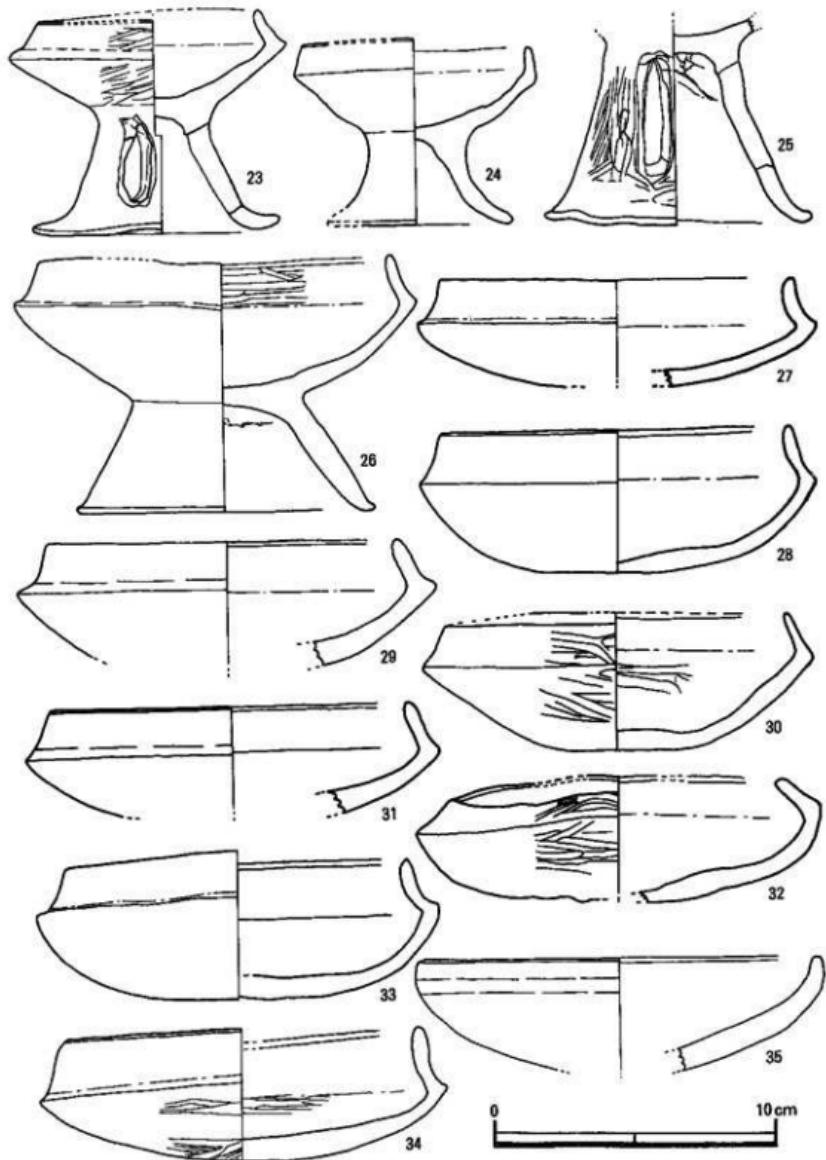
第13図 出出土器実測図 (1)



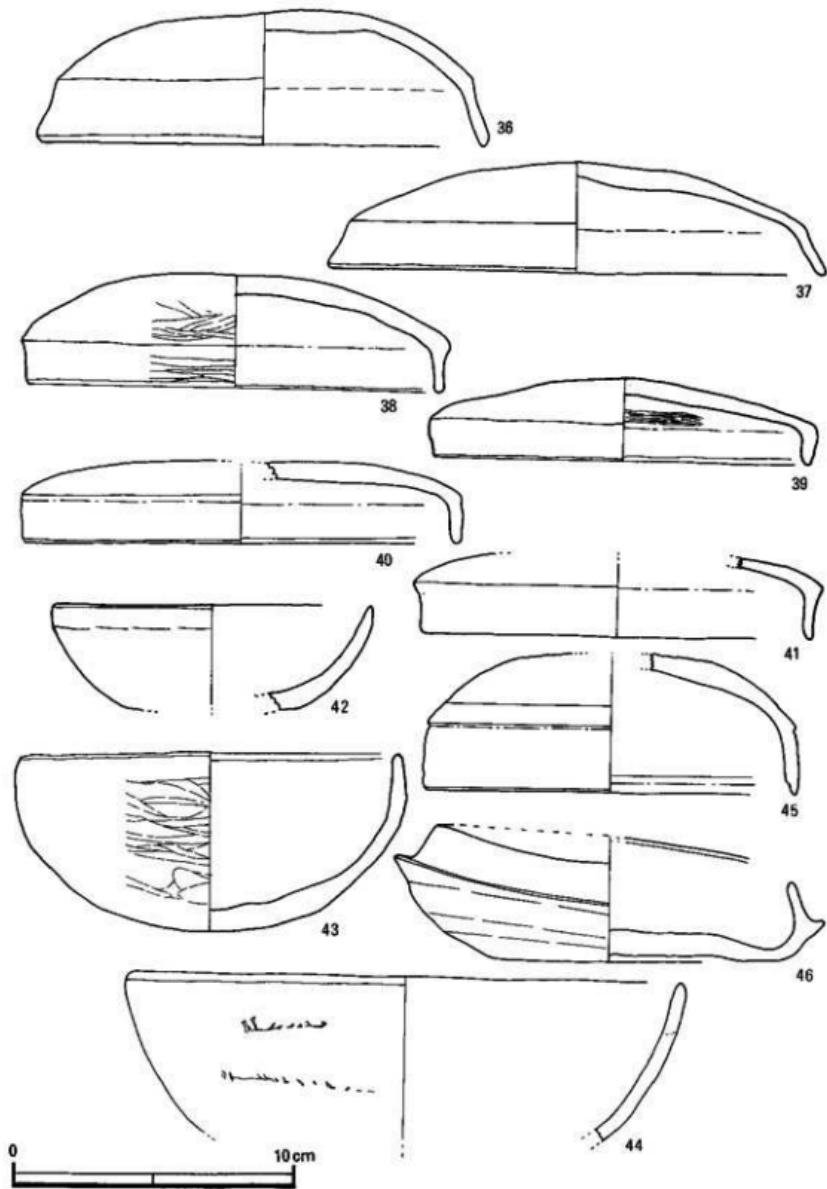
第14図 出土土器実測図 (2)



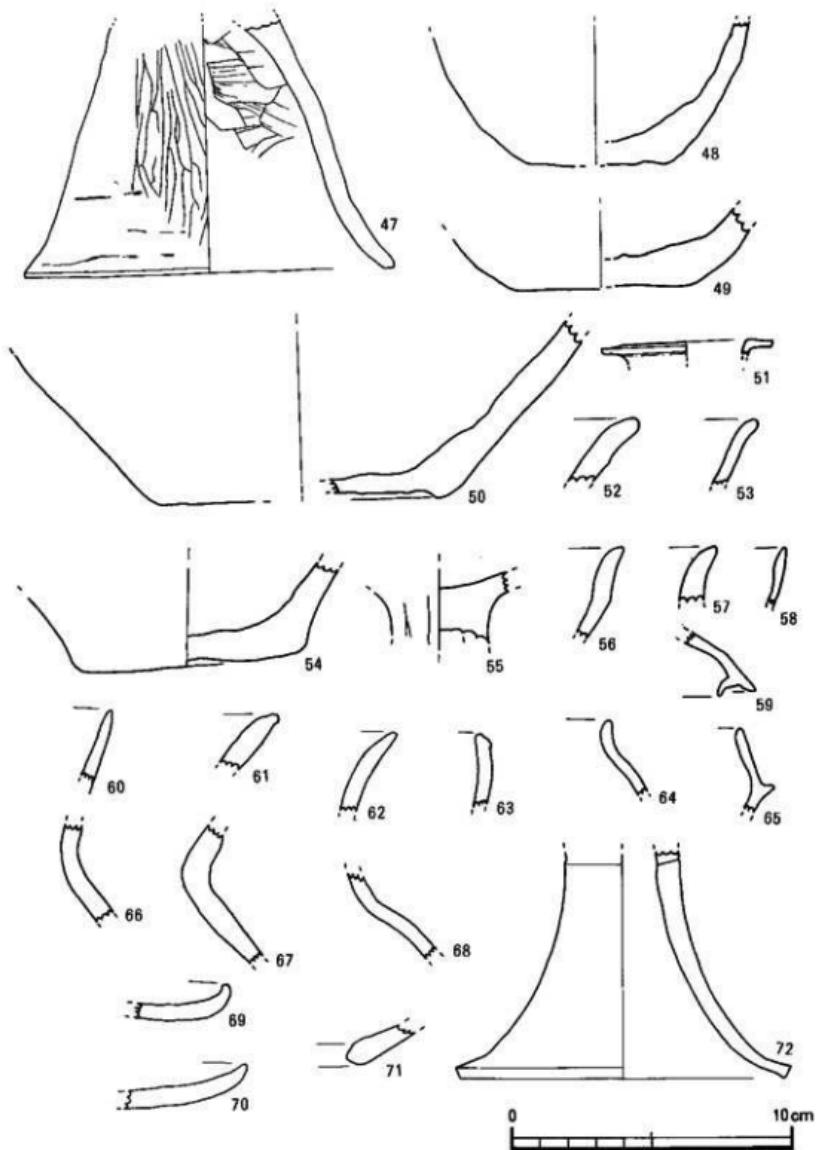
第15図 出土土器実測図 (3)



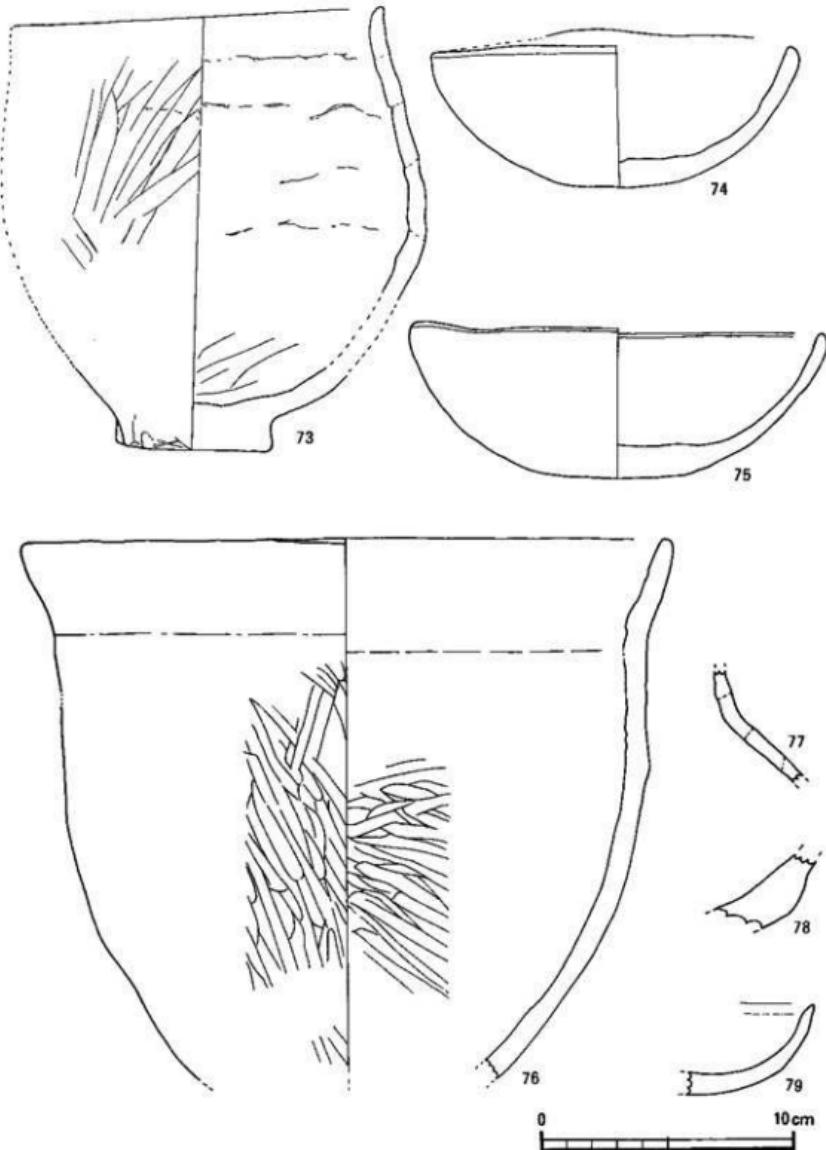
第16図 出土土器実測図 (4)



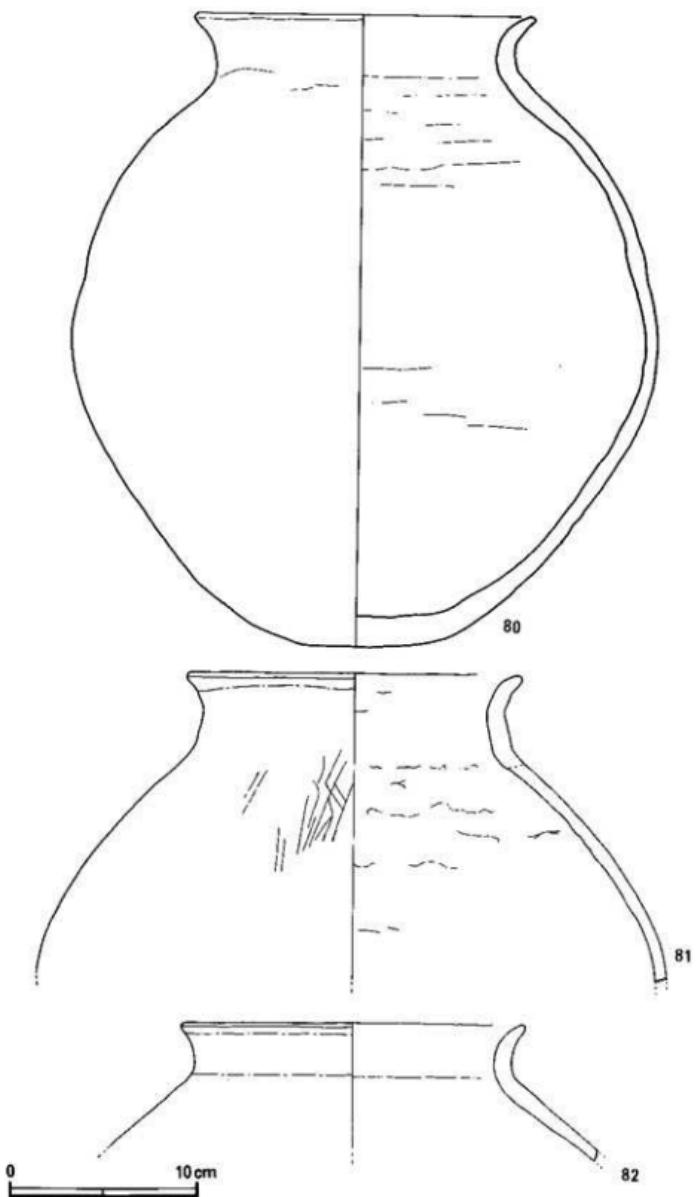
第17図 出土土器実測図 (5)



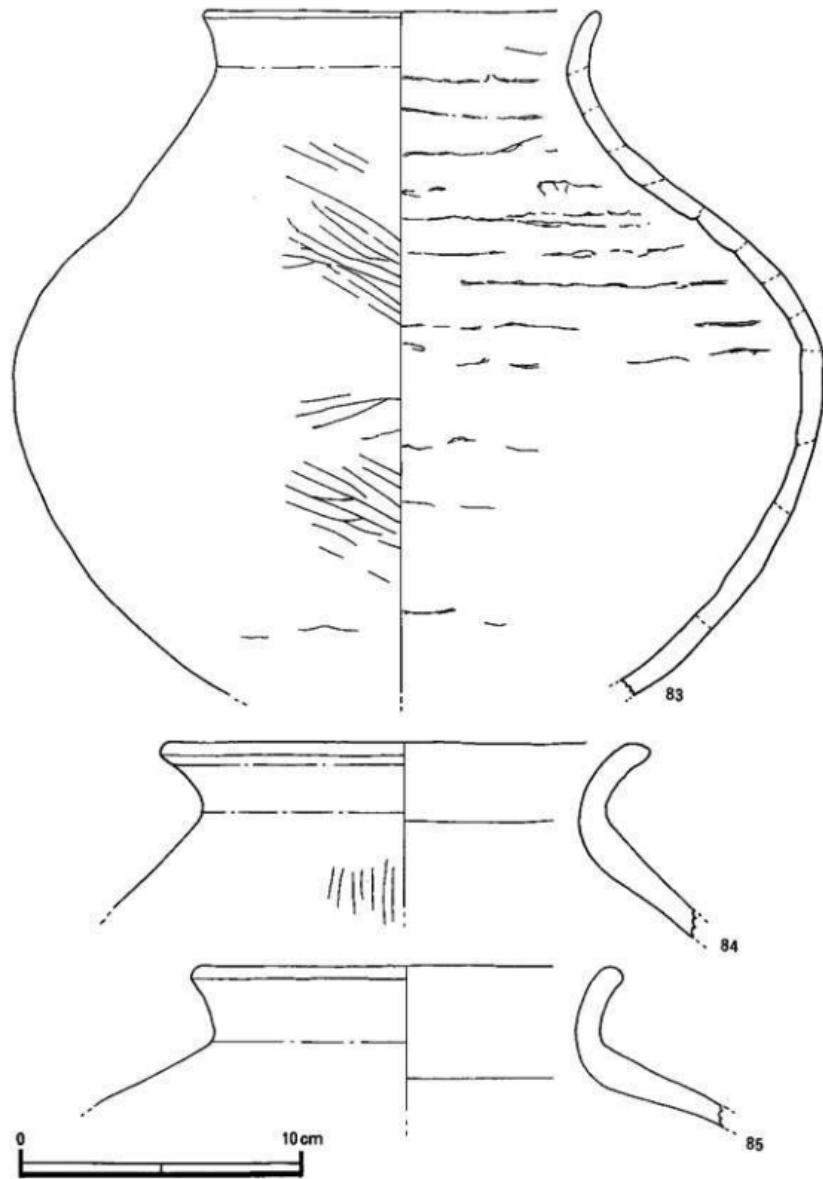
第18図 出土土器実測図 (6)



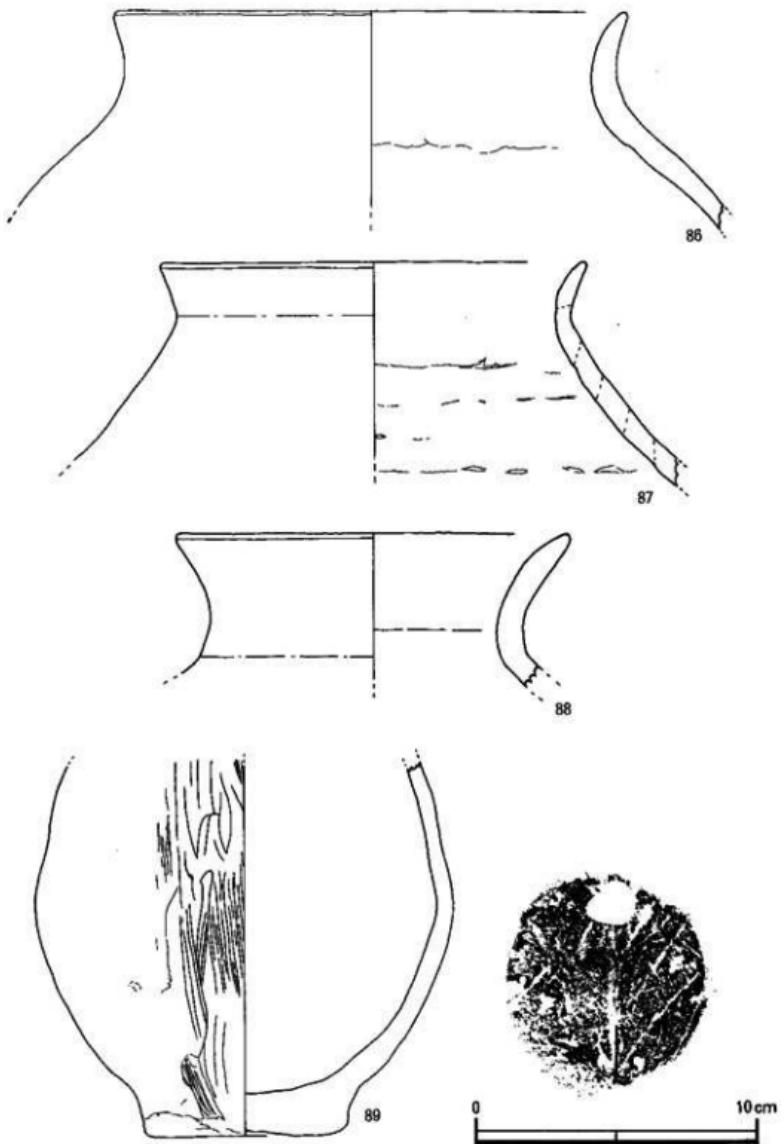
第19図 出土土器実測図 (7)



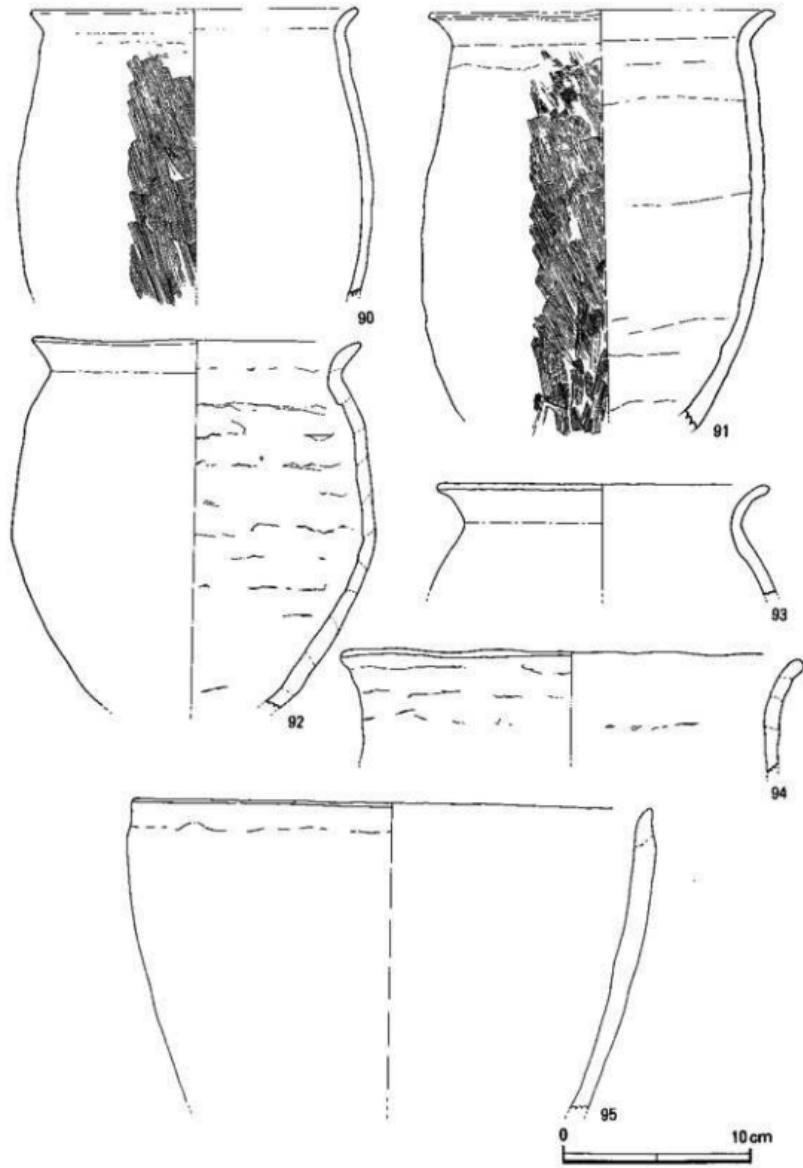
第20図 出土土器実測図 (8)



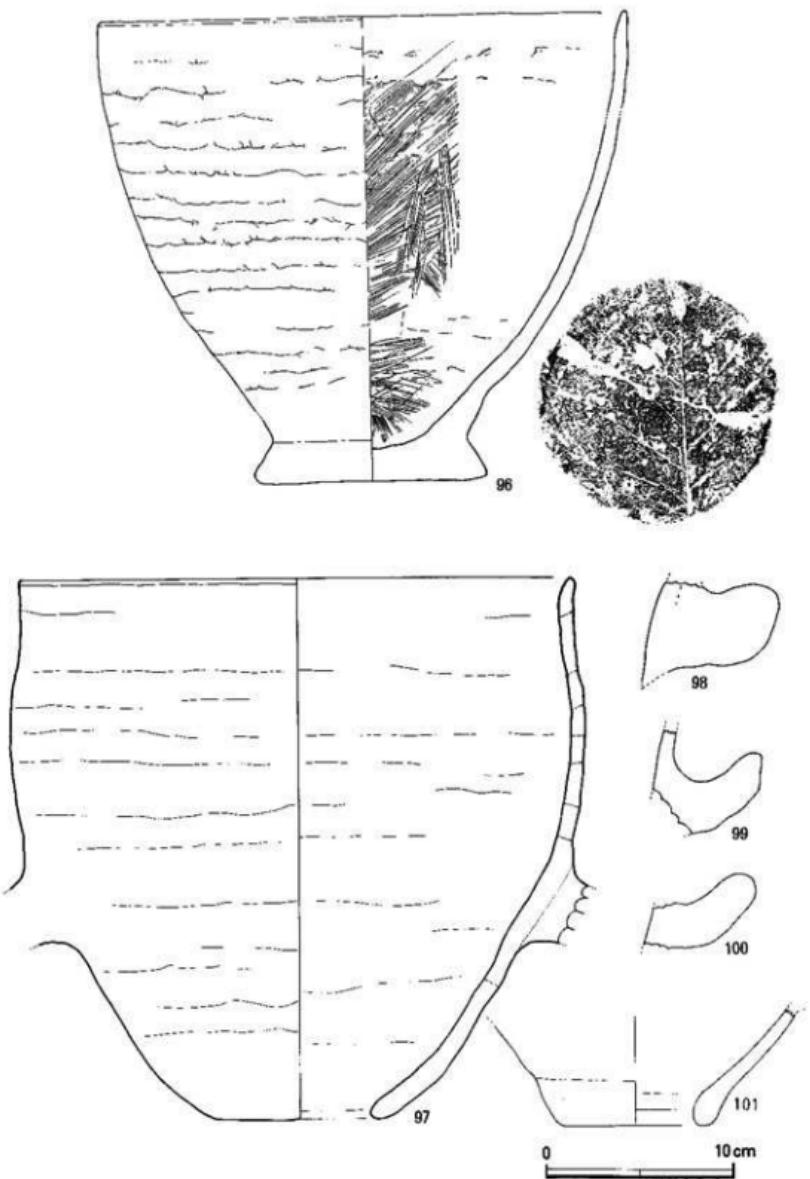
第21図 出土土器実測図 (9)



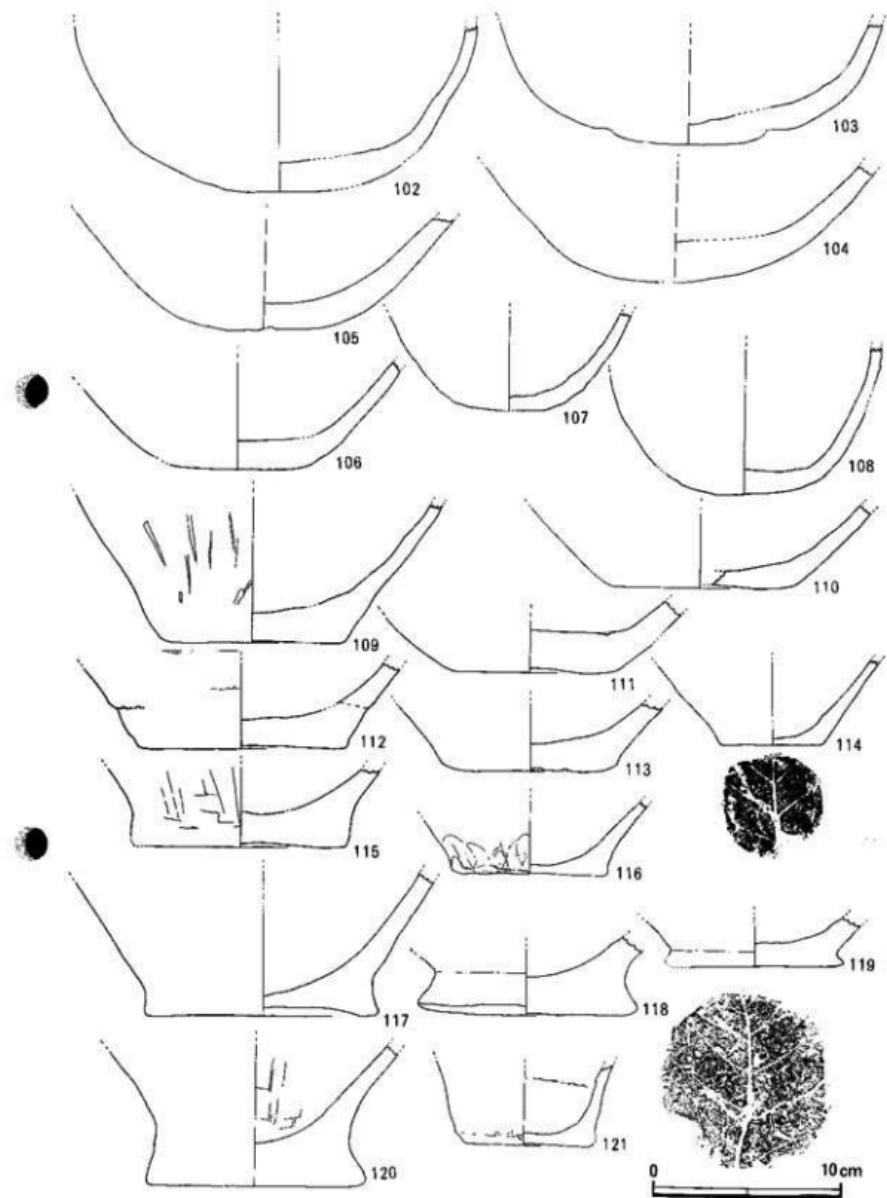
第22図 出土土器実測図 09



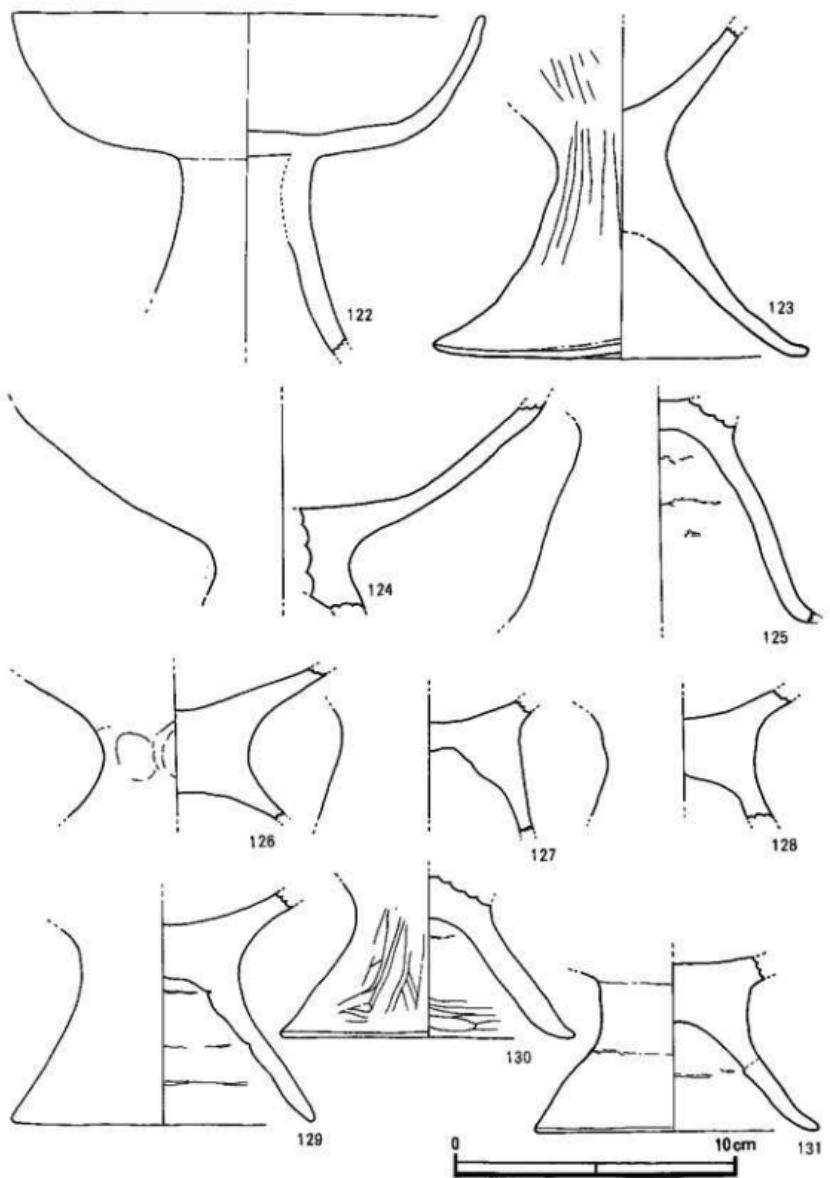
第23図 出土土器実測図 01



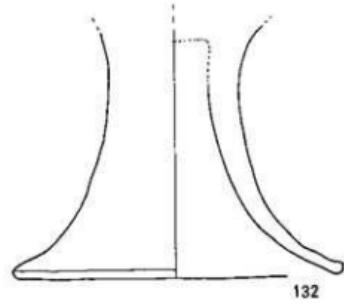
第24図 出土土器実測図 02



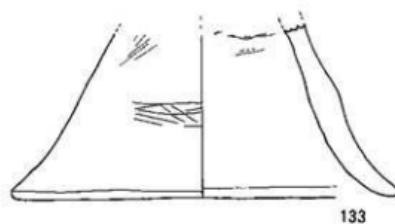
第26図 出土土器実測図 (3)



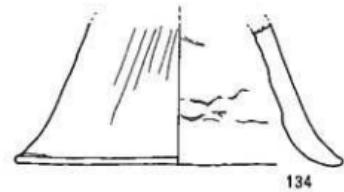
第26図 出土土器実測図 04



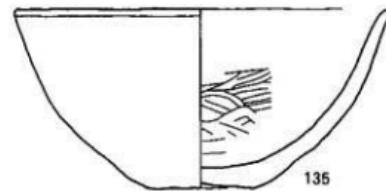
132



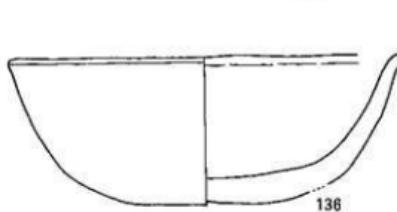
133



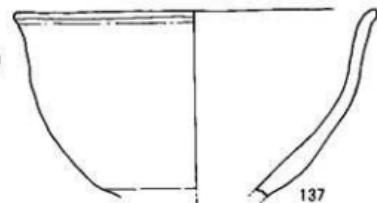
134



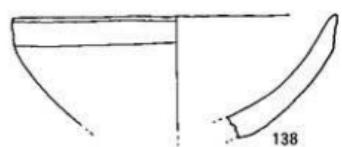
135



136



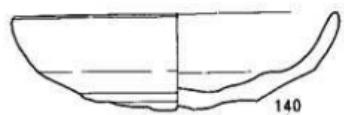
137



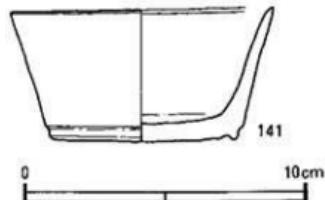
138



139



140

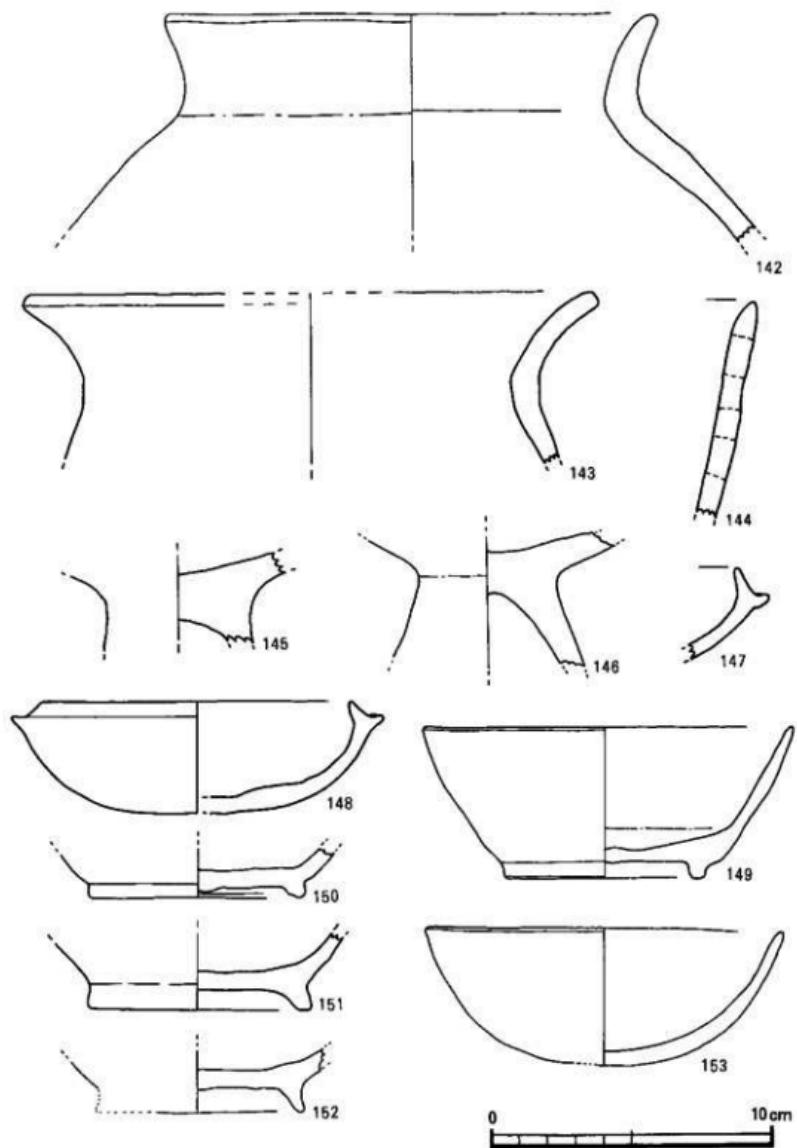


141

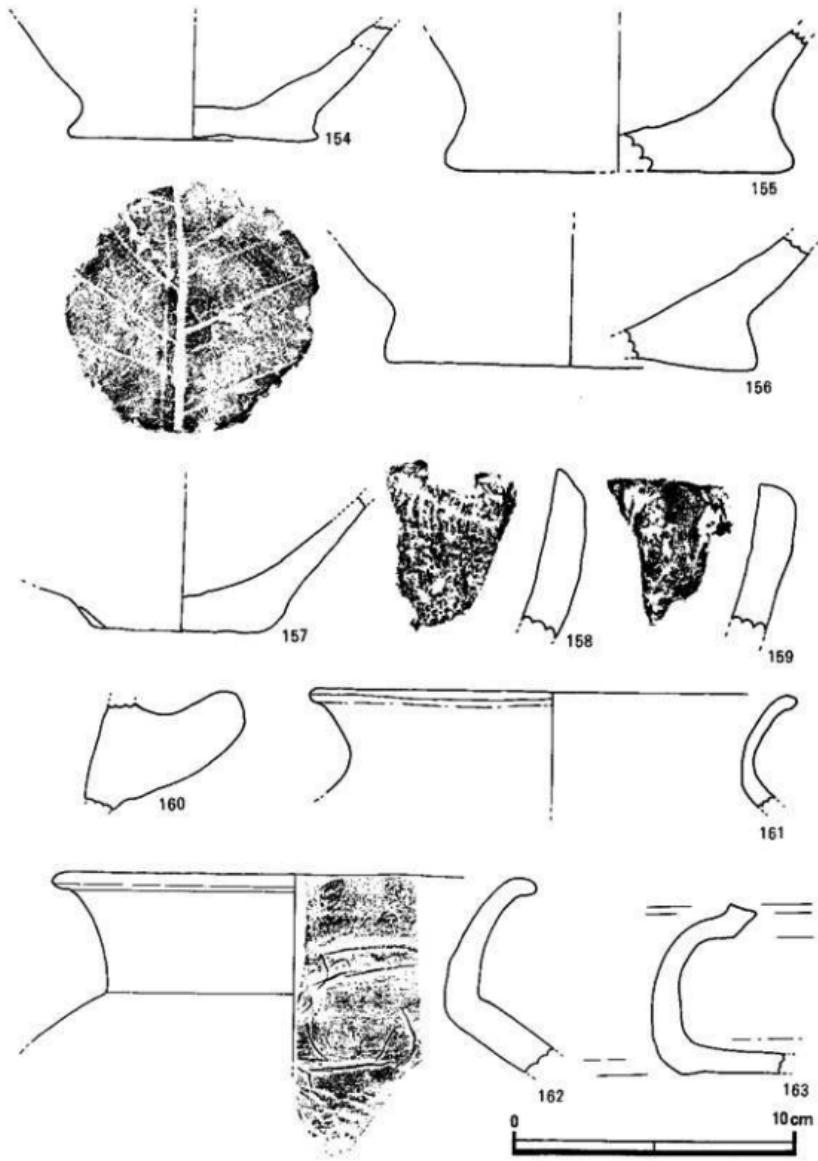
0

10cm

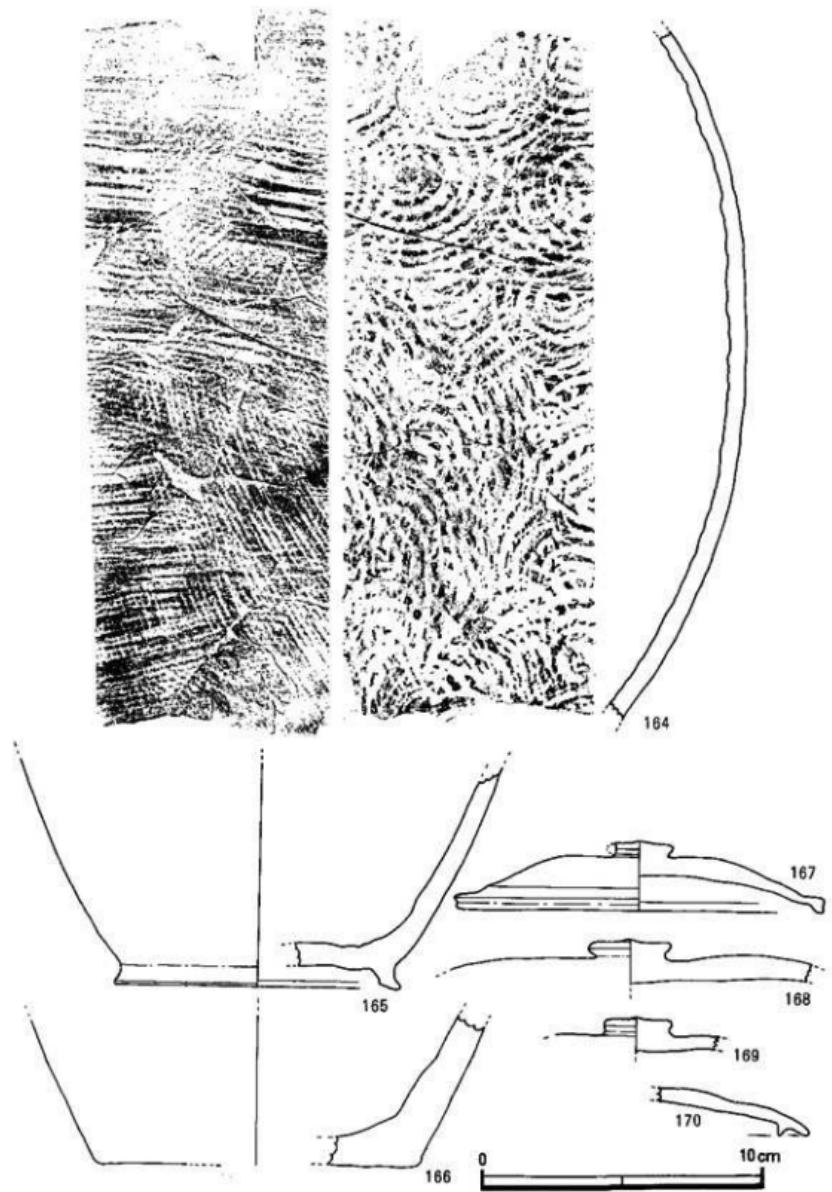
第27図 出土土器実測図 ⑯



第28図 出土土器実測図 ⑩



第29図 出土土器実測図 (07)



第30図 出土土器実測図 ⑧

(2) 土器観察表

番号	出土地	器種	焼成	胎 土 ・ 色 調	調 整	備 考
1	402号	壺	普通	3mm以下の灰色、黒、茶褐色の粒を含み、微細な石英粒も微量含む 内・外とも橙褐色	内一ナデ、一部ナダ後指オサエ 外一ナデ	外一煤付着
2	"	壺	普通	1~6mmの褐色、灰色、赤褐色の粒及び0.5mm以下の黒、赤褐色、白、灰色の細かい粒を含む 内・外とも赤褐色	内一ナデ 外一ヨコナデ	
3	"	壺	普通	7mm以下の暗褐色、灰色、黒の砂礫を含む 内・外とも赤褐色	内一ヨコナデ 外一細なナデ	
4	"	壺	普通	6mm以下の褐色、赤褐色、灰色の砂礫を含む 内・外とも茶褐色	内一ナデ 外・ナデ	
5	"	壺	普通	5mm以下の暗褐色、黒、灰色、白の粒を含む 内・暗褐色、外・褐色	内一ヨコナデ、一部ナナメハケ目 外一ナデ	
6	"	壺	普通	4mm以下の灰色、暗褐色、赤褐色、黒、淡褐色の粒を少量含む 内・外とも茶褐色	内一ヨコナデ 外一ヨコナデ	
7	"	壺	良好	1mm未満の灰色、黒、褐色の細かい砂粒を含む 内一淡黄褐色、外一赤褐色	内一ナデ 外一ミガキ	
8	"	壺	普通	4mm以下の暗褐色、黑、灰色の粒を含み、微細な光る粒も微量含む 内一褐色と暗褐色、外一淡赤褐色	内一ナデ 外一ヨコナデ	内一煤付着
9	"	壺	普通	3mm以下の赤褐色、黒、灰色の粒及び微細な石英粒を含む 内一淡褐色、外一褐色	内一ナデ、一部ナダ 外一ナデ	外一煤付着
10	"	壺	普通	2~5mmの褐色、黒、灰色の粒を少量含み、細かい赤褐色、黒、白の粒も含む 内・外とも褐色	内一ナデ、一部ナダ 外一ナデ、一部指オサエ	
11	"	壺	やや軟	3mm以下の褐色、黒、灰色の粒を含み、1mm未満の石英粒もごく微量含む 内・外とも赤褐色	内一ナデ 外一ナデ	外一煤付着
12	"	壺	普通	7mm以下の褐色、黒の粒を含む 内・外とも赤褐色	内一ナデ 外一ヨコナデ、ハケ目	
13	"	壺	普通	7mm以下の暗赤褐色、灰色、白、黒の砂礫を含む 内一褐色、外一淡赤褐色	内一ヨコナデ 外一ハケ目、一部指オサエ	
14	"		普通	4mm以下の褐色、灰色、赤褐色の粒及び1mm以下の黒い粒を含む 内・外とも茶褐色	内一不明 外一不明	
15	"	瓶	やや軟	8mm以下の褐色、灰色、黒の砂礫を含み、1mm以下の石英粒も微量含む 内一茶褐色、外一褐色と茶褐色	内一不明 外一ナデ	内一煤付着
16	"	瓶	普通	1mm以下の黒、白、灰色、赤褐色の細かい粒を含み、微細な光る砂も微量含む 内一赤褐色、外一赤褐色、一部黒	内一ナデ 外一ナデ、一部指オサエ	内一一部煤付着
17	"	瓶	普通	7mm未満の灰色、褐色、赤褐色の粒を含む 内・外とも茶褐色	内一ナデ 外一ナデ	
18	"	鉢	普通	3mm以下の暗赤褐色、黒、灰色の粒を含み、3~5mmの粒もごく微量含む 内一茶褐色、外一褐色	内一ナデ 外一ナデ	
19	"	鉢	やや軟	8mm以下の褐色、灰色、黒、白の砂礫を含み、0.5mm以下の石英粒もごく微量含む 内・外とも茶褐色	内一ナデ 外一ナデ	外一煤付着
20	"	鉢	普通	2mm以下の灰色、黒の粒を少量含む 内一茶褐色、外一褐色と黒褐色	内一ハケ目 外一ハケ目	
21	"	鉢	普通	1mm以下の赤褐色、茶褐色、黒、灰色、白の粒を含み、ごく細かな光る粒も微量含む 内・外とも褐色	内一ナデ 外一ナデ	
22	"	鉢	普通	1mm以下の褐色、茶褐色、黒、灰色、白の粒を含み、ごく細かな石英粒及び1mm以上の褐色の砂粒も微量含む 内一灰褐色、外一淡褐色、一部深褐色	内一ナデ 外一ナデ	

番号	出土地	器種	焼成	胎土・色調	調整	備考
23	402号	高坏	普通	ごく細かな黒、赤褐色、灰色の砂粒及び細かい石英粒を含み、3~4mmの粒もごく微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-环面ミガキ、 腹面ヨコナデ	
24	"	高坏	普通	2mm以下の灰色、黒、赤褐色の砂粒及び1mm未満の石英粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ヨコナデ	
25	"	高坏	普通	3mm以下の灰色、赤褐色の砂粒を含み、0.5mm以下の石英粒も少暈含む 内・外とも淡赤褐色	内-ヨコナデ 外-粗いミガキ	
26	"	高坏	普通	0.5mm以下の細かい白、黒、赤褐色、灰色の砂粒及び石英粒を含む 内-灰褐色と黄褐色(环面)赤褐色(脚部)、外-赤褐色、一部黄褐色	内-ナデ 外-ヨコナデ	
27	"	坏	普通	1mm以下の赤褐色、黒、灰色、白の粒及び細かい石英粒を含む 内・外とも淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ、一部ミガキ	
28	"	坏	普通	1mm以下の灰色、黒、白、褐色の細かい粒をやや多量に含み、微細な石英粒も少暈含む 内・外とも赤褐色	内-ナデ 外-不明、一部ヨコナデ	
29	"	坏	普通	1mm以下の褐色、灰色、黒の粒及び0.5mm以下の細かい石英粒を含む 内・外とも淡赤褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ、粗いミガキ	
30	"	坏	普通	2mm以下の褐色、黒、灰色、赤褐色の粒を含み、1mm以下の細かい石英粒も微量含む 内-黄褐色、一部淡赤褐色、外-赤褐色	内-ナデ、粗いミガキ 外-粗いミガキ	
31	"	坏	普通	1mm以下の褐色、黒、灰色の細かい粒をやや多量に含み、微細な石英粒を微量含む 内・外とも淡褐色	内-丁寧なナデ 外-不明、一部ヨコナデ	
32	"	坏	普通	3mm未満の褐色、黒、赤褐色の粒を含み、微細な石英粒を少暈含む、5mm前後の粒もごく微量含む 内・外とも赤褐色	内-ナデ 外-粗いミガキ	
33	"	坏	普通	2mm以下の灰色、黒、淡褐色、白の粒を含み、細かい白英粒も少暈含む、3~4mmの粒も微量含む 内・外とも赤褐色	内-ヨコナデ、粗いミガキ 外-ヨコナデ	
34	"	坏	良好	1mm以下の褐色、灰色、赤褐色の細かい砂粒を含み、微細な石英粒もごく微量含む 内-淡赤褐色、外-淡赤褐色と淡褐色	内-ヨコナデ、粗いミガキ 外-ヨコナデ、粗いミガキ	
35	"	坏	普通	4mm以下の赤褐色の粒及び1mm未満の灰色、黒、白の粒を含み、細かい石英粒も少暈含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 外-不明	
36	"	坏蓋	普通	2mm以下の赤褐色、黒、灰色の粒を含み、細かい石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-一部 煤付着
37	"	坏蓋	良好	1mm以下の褐色、黒、灰色の粒を含み、0.5mm以上の細かい石英粒も微量含む 内・外とも茶褐色	内-ナデ 外-粗いミガキ	
38	"	坏蓋	良好	1mm以下の黒、赤褐色、灰色の粒を含み、微細な石英粒も少暈含む 内-淡赤褐色、外-淡赤褐色と黄褐色	内-ヨコナデ 外-粗いミガキ	
39	"	坏蓋	良好	1mm以下の黒、灰色、赤褐色の粒を含み、0.5mm以下の細かい石英粒を含む 内-赤褐色、外-赤褐色と黄褐色	内-ミガキ、一部ヨコナデ 外-ナデ	
40	"	坏蓋	良好	0.5mm以下の褐色、灰色の細かい粒を含む 内・外とも淡赤褐色	内-ミガキ、一部ヨコナデ 外-ミガキ、一部ヨコナデ	
41	"	坏蓋	普通	2mm未満の褐色や灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ヨコナデ 外-ナデ	
42	"	坏	普通	2mm未満の灰色、黒、白、赤褐色の粒を含み、微細な石英粒も少暈含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
43	"	塊	普通	2mm以下の灰色、黒、赤褐色の粒を含み、微細な白英粒も微量含む 内-淡赤褐色と淡黃褐色、外-淡赤褐色	内-ナデ 外-粗いミガキ	
44	"	塊	普通	0.5mm以下の灰色、黒、赤褐色の細かい粒を含む 内・外とも淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ	

番号	出土地	器種	焼成	胎 土 ・ 色 調	調 整	備 考
45	402号	壺蓋	良好	ごく微細な白、黒の粒を含む 内・外とも黒灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
46	"	壺	良好	1mm以下の白、灰色、黒の細かい粒を含む 内・外とも灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
47	403号	高壺	普通	1mm以下の黒、褐色、赤褐色の粒を少量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-粗いミガキ	
48	"	壺	やや軟	6mm以下の褐色、灰色の粒をやや多量に含む 内-暗黄褐色、外-暗褐色、一部淡褐色	内-ナデ 外-不明	外-煤付着
49	"	壺	普通	6mm以下の灰色、褐色の粒をやや多量に含む 内-黒褐色、外-暗褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着
50	"	壺	普通	5mm未満の灰色、褐色、白、黒、赤褐色の粒を含み、6mmを超えるものが1個認められる 内-淡褐色、外-赤褐色	内-ナデ 外-ナデ	
51	"	壺	良好	ごく細かな白、黒、淡褐色の粒を含む 内・外とも暗紫色	内-不明 外-不明	須恵器
52	"		普通	1mm以下の褐色、灰色、赤褐色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
53	"	壺	普通	ごく細かな茶褐色、黒の粒を含む 内-淡褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ヨコナデ	
54	404号		普通	4mm以下の赤褐色の粒及び1mm以下の黒、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-不明	
55	"	高壺	やや軟	1mm以下の灰色、赤褐色の粒を含む 内・外とも橙色	内-不明 外-ミガキ	
56	"		普通	1mm以下の黒、赤褐色、灰色、白の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
57	"		普通	細かい黒、白、赤褐色の粒を少量含む 内・外とも淡褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	
58	"		普通	細かい褐色、黒の粒を含む 内・外とも灰色	内-不明 外-不明	須恵器
59	"		普通	ごく細かな白、灰色の粒を含む 内・外とも灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
60	405号		普通	ごく細かな黒、白、赤褐色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ミガキ 外-ミガキ	
61	"		普通	2mm以下の褐色の粒を含み、微細な石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
62	"		普通	3mm以下の灰色、褐色の粒を含む 内-褐色、外-黄褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着
63	"		普通	2mm未満の褐色、赤褐色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-丁寧なナデ 外-丁寧なナデ	
64	"	壺	普通	1mm以下の赤褐色、灰色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	
65	"	壺	やや軟	1mm未満の赤褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-不明	
66	"		普通	2mm以下の褐色、灰色、赤褐色の粒を含む 内-淡黃褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	

番号	出土地	器種	焼成	胎土・色調	調整	備考
67	405号		やや軟	ごく細かな灰色、黒、茶褐色の粒を含み、1mm以下の石英粒も微量含む 内・外とも暗褐色	内-不明 外-不明	
68	"		普通	3mm未満の褐色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
69	"		普通	細かい黒、灰色、白の粒を含み、微細な石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内-ヘラナデ、一部ヨコナデ 外-不明、一部ナデ	
70	"		やや軟	ごく細かな黒、赤褐色、白の粒を含む 内-淡褐色、外-淡褐色	内-不明 外-不明	
71	"	瓶	普通	2mm未満の褐色、灰色、赤褐色の粒を含み、 1mm以下の石英粒も微量含む 内-赤褐色、外-淡褐色、一部赤褐色	内-ヨコナデ 外-ナデ	
72	"	高杯	良好	1mm未満の黒、白の細かい粒を含む 内・外とも暗灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
73	406号	鉢	普通	5mm未満の暗赤褐色、黒、灰色、白の粒を含む 内-褐色と黒褐色、外-褐色と暗褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	外-煤付着
74	"	塊	普通	2mm以下の褐色、黒の砂粒及び石英粒をかなり 多く含む 内-淡褐色、外-淡褐色	内-不明 外-不明	
75	"	塊	普通	2mm以下の暗褐色、黒、赤褐色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-丁寧なナデ	
76	"	壺	普通	4mm以下の赤褐色、灰色、黒の粒を含む 内-淡褐色と灰褐色、外-淡褐色	内-ヨコナデ、一部粗いミガキ 外-ヨコナデ、ヘラナデ	
77	408号	壺	普通	3mm未満の褐色、黒、赤褐色の粒を含む 内-淡褐色と灰褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着
78	"		普通	2mm以下の黒、赤褐色、灰色、褐色の粒を含 み、3mm以下の石英粒も微量含む 内-黒、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	内-煤付着
79	"	壺	普通	1mm未満の黒、赤褐色、灰色の細かい粒を含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 外-不明、山根部ヨコナデ	
80	大型溝 2区	壺	普通	4mm以下の黒、赤褐色、灰色の粒を含む 内-暗黃白色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
81	"	壺	普通	4mm以下の褐色、黒、赤褐色の粒をやや多量 に含む 内-淡黃白色、外-淡褐色	内-不明 外-不明	
82	"	壺	普通	2mm以下の褐色、赤褐色、黒、灰色の粒を含 む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
83	"	壺	普通	4mm以下の褐色、赤褐色、黒、灰色の粒を含 む 内-淡褐色、一部灰褐色、 外-淡褐色と淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ、一部ミガキ	
84	"	壺	やや軟	2mm以下の灰色、褐色、赤褐色、黒の粒を含 む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-ヨコナデ	
85	"	壺	普通	2mm以下の黒、赤褐色の粒を含み、1 mm以下の石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
86	"	壺	普通	5mm以下の褐色、灰色、黒、赤褐色の粒を含 む 内-淡黃褐色、外-灰褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着
87	"	壺	普通	2mm以下の褐色、黒、赤褐色、灰色の粒をや り多量に含み、1mm以下の石英粒もごく微量 含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
88	"	壺	普通	5mm以下の褐色、黒、灰色、赤褐色の粒を含 む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ヨコナデ	

番号	出土地	器種	焼成	胎上・色調	調整	備考
89	大型溝 2区	壺	普通	3mm未満の赤褐色、灰色、黒の粒を少量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ、一部ミガキ	
90	"	甕	普通	4mm以下の中褐色、暗褐色、黒、灰色、白の粒を含む 内・外とも暗褐色	内-ナデ 外-ハケ目、 口縁部ヨコナデ	内外ともに 煤付着
91	"	甕	普通	6mm以下の黒、赤褐色、灰色、褐色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-口縁部ヨコナデ、胴部ハケ目 外-口縁部ヨコナデ胴部ハケ目	
92	"	甕	普通	4mm以下の褐色、灰色、赤褐色、黒の粒を含む 内・外とも褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着
93	"	甕	普通	4mm以下の黒、灰色、赤褐色、褐色の粒を含む 内-淡赤褐色、外-褐色	内-不明 外-不明	
94	"	甕	普通	3mm以下の褐色、黒、灰色の粒を含み、1mm以下の石英粒を微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
95	"	甕	普通	4mm以下の褐色、赤褐色、黒、灰色、白の粒を含み、1mm未満の石英粒も微量含む 内-淡褐色、外-淡赤褐色と淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
96	"	鉢	普通	4mm以下の赤褐色、黒、灰色、褐色の粒を含む 内-暗褐色と黒、外-淡橙褐色	内-口縁部ヨコナデ 胴部ハケ目 外-ナデ	木の葉底
97	"	瓶	普通	3mm以下の赤褐色、褐色、灰色、黒の粒を含む 内-淡黄褐色と褐色、外-淡褐色と淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
98	"	瓶 (牛糞手)	普通	3mm以下の褐色、灰色、黒、乳白色の粒を含み、2mm以下の中石英もごく微量含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
99	"	瓶 (牛糞手)	普通	4mm以下の褐色、灰色、赤褐色の粒を含む 内-暗褐色、外-褐色	内-ナデ 外-ナデ	
100	"	甕 (牛糞手)	普通	3mm以下の酒褐色、赤褐色、黒、灰色、白の粒を含み、0.5mm以下の細かい石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
101	"	甕	普通	3mm以下の褐色、灰色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-不明	
102	"	壺	普通	3mm以下の褐色、灰色、赤褐色の粒を多量に含む 内-淡赤褐色と灰褐色、 外-淡赤褐色、一部灰色	内-不明 外-不明	
103	"	壺	普通	8mm以下の褐色、灰色、赤褐色、黒の粒を含む 内-淡褐色、外-褐色	内-ナデ 外-ナデ	
104	"	壺	普通	4mm以下の褐色、赤褐色、黒、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
105	"	壺	普通	5mm以下の暗褐色、灰色、黒、赤褐色の粒を含む 内-淡黄褐色、外-淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ	
106	"	壺	普通	5mm以下の赤褐色、暗褐色、黒、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
107	"	壺	普通	5mm以下の灰色、淡赤褐色、褐色の粒を含む 内-褐色、外-灰褐色、一部淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ	
108	"	壺	普通	2mm以下の褐色、灰色、黒、赤褐色の粒をや り多く含む 内-黄褐色、外-赤褐色	内-ナデ 外-不明	外-一部 煤付着
109	"	甕	普通	4mm以下の灰色、赤褐色、黒、乳白色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
110	"	壺	普通	4mm以下の褐色、灰色、白の粒を含む 内-灰色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	

番号	出土地	器種	焼成	胎 土・色 調	調 整	備 考
111	大型溝 2 区	壺	普通	3 mm以下の灰色、褐色、黒、赤褐色の粒を含む、微細な光る粒も少數含む 内-淡黄色、外-淡褐色	内-ヘラナデ 外-ナデ	外-底部 煤付着
112	"		普通	5 mm以下の褐色、赤褐色、黒、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	木の葉底
113	"	甕	普通	5 mm以下の褐色、灰色、黒、赤褐色の粒をや や多量に含む 内-灰褐色、外-淡茶褐色	内-ナデ 外-不明	
114	"		普通	3 mm以下の灰色、褐色、黒、赤褐色の粒を含む 内-淡褐色と黒、外-淡褐色	内-不明 外-ナデ	外-煤付着
115	"	甕	普通	2 mm未満の褐色、赤褐色、灰色、黒の粒をや や多量に含む、1 mm以下の石英粒も微量含む 内-白っぽい淡褐色、外-淡赤褐色	内-ナデ 外-ハケ目	木の葉底
116	"	壺	普通	3 mm以下の褐色、黒、赤褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-指オサエ	
117	"	甕	普通	5 mm以下の褐色、灰色、黒の粒を含む 内-灰褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-不明	内-煤付着
118	"	甕	普通	5 mm以下の褐色、黒、灰色、白の砂 礫を含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
119	"		普通	4 mm以下の褐色、黒、灰色、白、赤褐色の粒 を含む 内-褐色、外-暗褐色	内-ナデ 外-ナデ	外-煤付着 木の葉底
120	"	甕	普通	4 mm未満の赤褐色、黒、灰色の粒を含む 内-灰褐色、外-淡褐色	内-ハケ目 外-ナデ	外-底部に 煤付着
121	"	甕	普通	4 mm以下の褐色、黒、赤褐色の粒を含む 内-褐色、外-灰褐色	内-ナデ 外-ナデ	
122	"	高坏	普通	1 mm以下の黒、茶褐色の粒を少量含む 内・外とも茶褐色	内-ナデ 外-ナデ	
123	"	高坏	普通	1 mm以下の赤褐色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
124	"	高坏	普通	2 mm未満の赤褐色、褐色、灰色の粒を含む 内・外とも茶褐色	内-ミガキ 外-ミガキ	
125	"	高坏	普通	1 mm未満の赤褐色、灰色、黒の細かい粒を含 み、ごく微細な光る粒も少量含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 一部ヨコナデ 外-粗いミガキ	
126	"	高坏	普通	2 mm未満の赤褐色、灰色、黒の粒を含む 内・外とも茶褐色	内-丁寧なナデ 外-指オサエ後ナデ	
127	"	高坏	やや軟	2 mm以下の白色、白、赤褐色の粒を含み、微 細な石英粒も少量含む 内・外とも淡褐色	内-上-ナデ 下-不明 外-不明	
128	"	高坏	普通	4 mm未満の褐色、黒、赤褐色、灰色の粒を含 む 内・外とも淡褐色	内-上-ナデ 下-不明 外-ナデ	
129	"	高坏	普通	2 mm以下の褐色、灰色、赤褐色、黒の粒をや や多く含む 内-淡褐色、外-淡褐色	内-不明 外-不明	
130	"	高坏	普通	3 mm以下の褐色、黒の粒及び細かい赤褐色の 粒を少額含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ、一部ミガキ 外-粗いミガキ	
131	"	高坏	普通	1 mm以下の赤褐色、黒灰色、褐色の粒を含み、 3~6 mmのものも微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
132	"	高坏	やや軟	1 mm以下の赤褐色、灰色、黒、褐色の粒を少 量含む 内-赤褐色、外-淡赤褐色	内-不明 外-不明	

番号	出土地	器種	焼成	胎 土 ・ 色 調	調 整	備 考
133	大型溝 2 区	高坏	普通	2 mm以下の赤褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ヨコナデ 外-粗いミガキ 一部ヨコナデ	
134	"	高坏	普通	2 mm以下の赤褐色、黒、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外- 不明	
135	"	塊	普通	2 mm以下の褐色、灰色、黒、赤褐色の粒を含む 内-黒、外-淡褐色と淡棕褐色	内-不明 外-不明	
136	"	塊	普通	3 mm以下の赤褐色、黒、灰色、褐色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 外-粗いミガキ	
137	"	塊	普通	2 mm以下の赤褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 外- 不明	
138	"	坏	普通	1 mm以下の赤褐色、黒の粒を少量含む 内・外とも淡褐色	内-粗いミガキ 外-粗いミガキ	
139	"	塊	普通	2 mm以下の灰色、赤褐色の粒を含む 内・外とも淡茶褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	
140	"	坏	良好	ごく細かな淡褐色、灰白色の粒を含み、1 ~ 3 mmの白い粒を微量含む 内・外とも灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
141	"	鉢	良好	黒、灰色の細かい粒を含む 内・外とも淡灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
142	大型溝 3 区	壺	普通	4 mm以下の灰色、褐色、赤褐色、黒の粒を含む、 1 mm未満の石英粒もごく微量含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-ナデ	
143	"	壺	普通	2 mm以下の灰色、黒、赤褐色の粒をやや多量 に含み、1 mm未満の石英粒を微量含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
144	"		普通	4 mm以下の褐色、赤褐色、灰色、黒の粒を含む 内-淡褐色、外-淡赤褐色	内-ナデ 外-ナデ	
145	"	高坏	普通	2 mm未満の赤褐色、灰色、黒の粒を含み、1 mm未満の細かな石英粒も微量含む 内-淡褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
146	"	高坏	普通	4 mm未満の赤褐色、灰色の粒を含み、微細な 石英粒も少量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-不明	
147	"	坏	やや軟	細かい赤褐色、灰色、黒の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-不明 外-不明	
148	"	坏	やや軟	1 mm以下の黒、灰色、白、淡赤褐色の粒を含む 内・外とも淡棕褐色	内- 不明 外-不明	
149	"	高台付 塊	良好	1 mm以下の褐色、灰色の細かい粒を少量含む 内-淡赤褐色、外-淡黄褐色	内-ヨコナデ 外-ナデ	
150	"	高台付 塊	良好	1 mm未満の黒、褐色の粒を少額含む 内・外とも淡灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
151	"	高台付 塊	普通	1 mm未満の黒、茶褐色の粒及びごく細かな白 い粒を含む 内・外とも淡赤褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	
152	"	高台付 塊	やや軟	2 mm以下の赤褐色、褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内- 不明 外-不明	
153	"	塊	普通	3 mm未満の灰色、赤褐色、黒の粒を含み、細 かい石英粒も微量含む 内・外とも淡褐色	内- 不明 外-ナデ	
154	"	壺	普通	4 mm以下の褐色、灰色、黒の粒を含む 内-灰褐色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	木の葉底

番号	出土地	器種	焼成	胎土・色調	調整	備考
155	大型溝 3区	壺	普通	2mm以下の褐色、黒、灰色、白の粒を含む 内-黒褐色、外-橙褐色	内-ナデ 外-不明	
156	"	壺	普通	4mm以下の褐色、灰色の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ヨコナデ	木の葉底
157	"	壺	普通	3mm以下の褐色、灰色、淡褐色、赤褐色の粒を含む 内-灰色、外-淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
158	"		普通	6mm以下の褐色、灰色の粒及びごく細かな黒、白の粒を含む 内・外とも淡褐色	内-布痕 外-不明	
159	"		普通	ごく細かな白、黒、褐色の粒を含み、3~7mmのものも微量含む 内・外とも暗褐色	内-布痕 外-ナデ	
160	"	瓶 (牛角把手)	普通	3mm以下の褐色、灰色、黒、赤褐色の粒を含み、微細な白毫も微量含む 内・外とも淡褐色	内-ナデ 外-ナデ	
161	"		良好	0.5mm以下の黒、褐色、白の細かい粒を少量含む 内・外とも灰褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
162	"	壺	良好	細かい黒、灰色、淡褐色の粒を含む 内-灰色、外-墨灰色と灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器
163	"		良好	0.5mm以下の細かい白、黒灰色の粒を含む 内・外とも黒灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ 一部同心円文	須恵器
164	"	壺	良好	2mm以下の白、淡褐色の粒及び1mm以下の黒褐色の粒を含む 内-灰色、外-淡墨灰色	内-同心円文 外-横方向の平行線文印記、後ナデ	須恵器
165	"	高台付 塊	良好	2mm未満の褐色、黒、赤褐色、白の粒を含む 内-灰褐色、外-暗灰褐色、一部暗赤褐色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	
166	"	鉢	普通	0.5mm以下の黒、淡褐色、灰色の細かい粒を含む 内-灰色、外-灰褐色	内-ヨコナデ 外-ナデ	
167	"	坏蓋	良好	細かい白、淡褐色の粒を含む 内-青灰色、外-暗緑灰色	内-ナデ 外-ナデ	須恵器
168	"	坏蓋	良好	ごく細かい白、黒、褐色の粒を含む 内・外とも青灰色	内-不明 外-不明	須恵器
169	"	坏蓋	普通	1mm以下の褐色、黒の粒を含む 内・外とも灰色	内-不明 外-不明	須恵器
170	"	坏蓋	普通	細かい黒、白、赤褐色の粒を含む 内・外とも青灰色	内-ヨコナデ 外-ヨコナデ	須恵器

それぞれの遺構から十師器や須恵器の出土があったが、石器や木器は検出されなかった。また、軽石は数十点見られたが、加工痕や使用痕は見られなかった。

402号住居跡から須恵器を模倣した高坏、蓋坏が多量に出土した点、大型溝状遺構から木葉底の鉢、牛角把手の瓶が出土した点、特に2区の部分から壺が多く出土したことが注目される。さらに、須恵器は402号住居跡を始めとして、各住居跡、大型溝状構等、遺跡全体を見ても数少ないことが特徴である。

III. まとめ

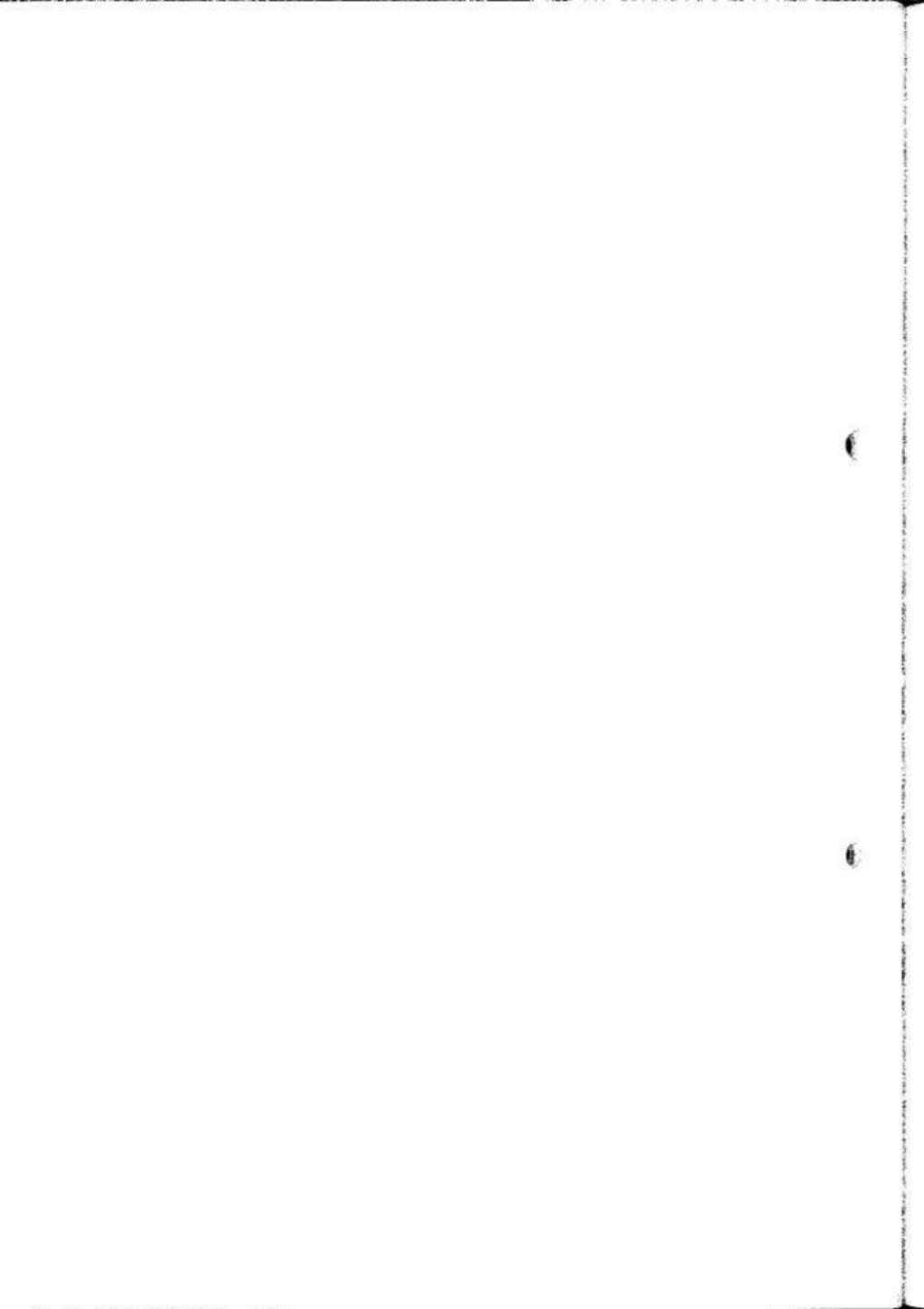
第4次浄土江遺跡の調査によってあらたに8軒の住居跡と8本の溝状遺構、大型溝状遺構とが判明した。

住居跡について見てみると、402号住居跡出土の土師器のうち、壺や甕は鈍く外反する口縁部、輪積の痕跡を良く残しており、瓶が出現する点は浄土江Ⅱ式に比定出来るが、須恵器を模倣した高环や蓋環には浄土江Ⅰ式と後出するものが含まれている。また、須恵器の蓋環が6世紀中葉のものであることから、402号住居跡の時期を6世紀後半にすることが出来よう。403号住居跡はやや外湾する高环の脚部、鈍く外反する口縁部から浄土江Ⅱ式に、405号住居跡は須恵器の方形の透しをもった高环脚部より浄土江Ⅱ式に、406号住居跡は底部を肥厚させ高台のついたような鉢、塊（浅鉢）より浄土江Ⅱ式に比定出来よう。401、404（305）、407、408号の各住居跡については、出土遺物が床面より浮き上がったものなので時期の比定は行わないが、浄土江Ⅱ、Ⅲ式の範囲内の遺物であり、従来の時期を越えるものとは思われない。

溝状遺構については、それぞれの幅、深さに統一性が見られないことと、住居跡との切り合が多いことが特徴であるが、住居遺構との関連は把握出来なかった。

大型溝状遺構については、北に向かって徐ろに深くなり紫黒色粘質土と明黄色粘質土の互層になる点、南（4区）が浅くなり埋土が紫黒色粘質土の1層しかない点から、溝状部と溜池的な部分から成っていたものが、洪水等の河川の氾濫により次第に埋まってゆき、現在の地形となったことを示している。また、前3次の調査で指摘された南北の居住区の分割地帯にこの大型溝状遺構が伸びていくこと、溝状遺構の多くがこの大型溝状遺構の延長上に接することから、この大型溝状遺構は微高地上をゆるやかに流れ多くの排水を受けていたと考えられる。

浄土江遺跡は、東西幅約1kmの微高地の南西端部に位置しており、南側の低地と約1mの比高差をもっている。遺構としては、調査を行った南北180m、東西50mの範囲内に6世紀中葉から8世紀中葉にかけての住居跡が存在し、大型溝状遺構と多くの溝状遺構が見られる。また、土器では、須恵器の量が極端に少なく、Ⅰ期では須恵器を模倣した土師器の蓋環、高环を多量に使用していること、Ⅱ、Ⅲ期の土師器には、幅の細い輪積の跡を明瞭に残すもの、木葉底のものが特徴として挙げられる。以上のことから、本遺跡は6世紀になって、微高地南端部に住居を定めた人々により営まれ始め、大淀川が近く台風等の上陸の多い地方であることから、排水のための溝を掘り巡らしたと思われる。しかし、数十年に一度は洪水や高波等の自然災害によって居住域を微高地上の他の区域に移動する生活を余儀なくされていたと思われる。このことは、後の延喜式に日向國の記述として多く見られる、天災と租税の減免、人々の逃亡からも推測でき、宮崎平野の微高地上に暮らす難しさを示すものと思われる。また、Ⅰ期における須恵器を模倣した土師器の多さは自給自足的な生活を、Ⅱ期からの土器の特徴は、宮崎市南部の熊野地区でもみられることから、竈と共に新たな技術（文化）の到来を示しているものではないだろうか。





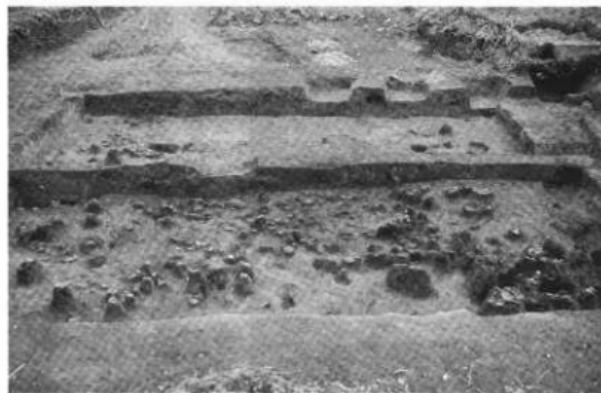
401号・402号・403号
住居跡



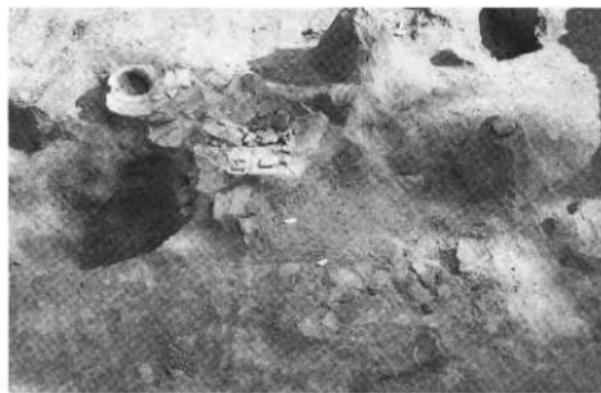
401号住居跡



402号住居跡



402号住居跡
出土状況



402号住居跡
出土状況



403号住居跡



404号住居跡



405号・406号住居跡



405号住居跡



406号住居跡



407号住居跡



408号住居跡



大型溝状遺構
(2区出土状況)



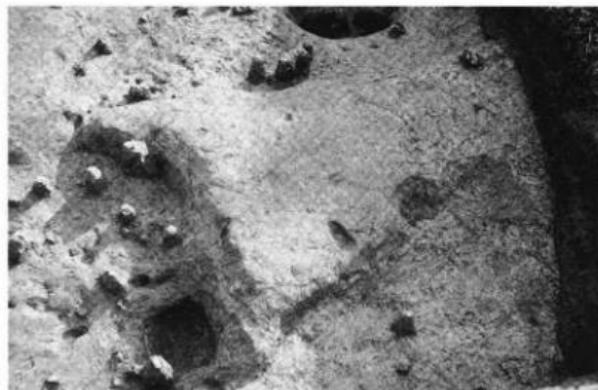
大型溝状遺構
(2区出土状況)



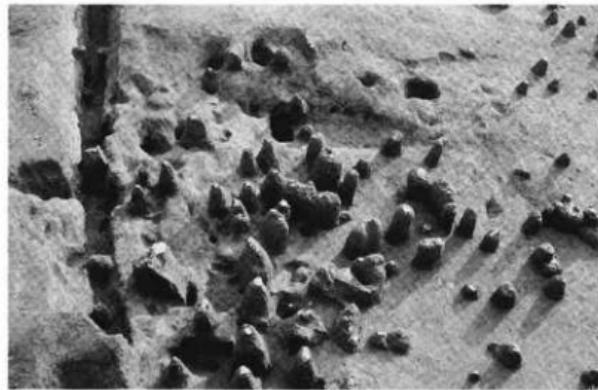
大型溝状遺構
(2区出土状況)



大型溝状遺構
(3区出土状況)



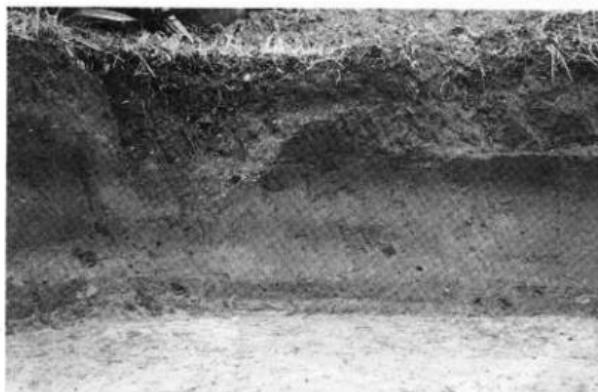
大型溝状遺構
(Pit)



大型溝状遺構
(小Pitと18号溝)



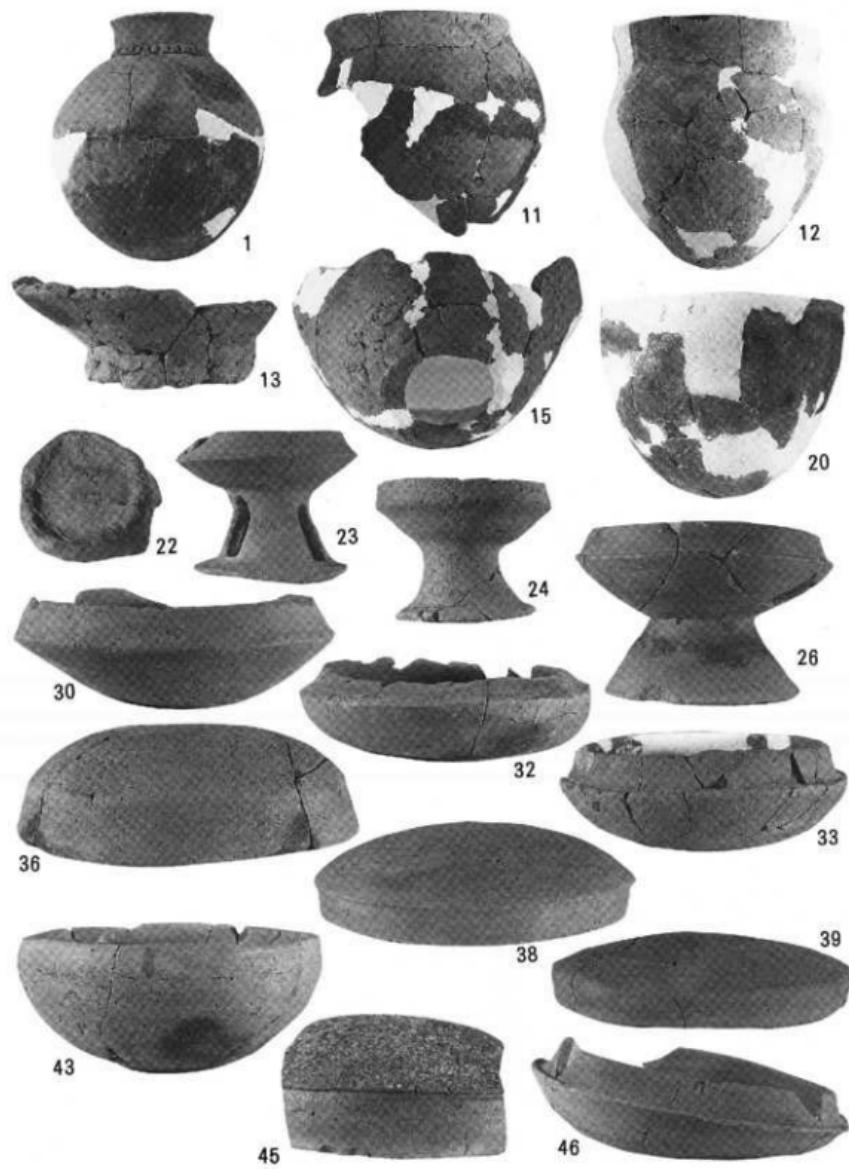
大型溝状遺構
(4区出土状況)

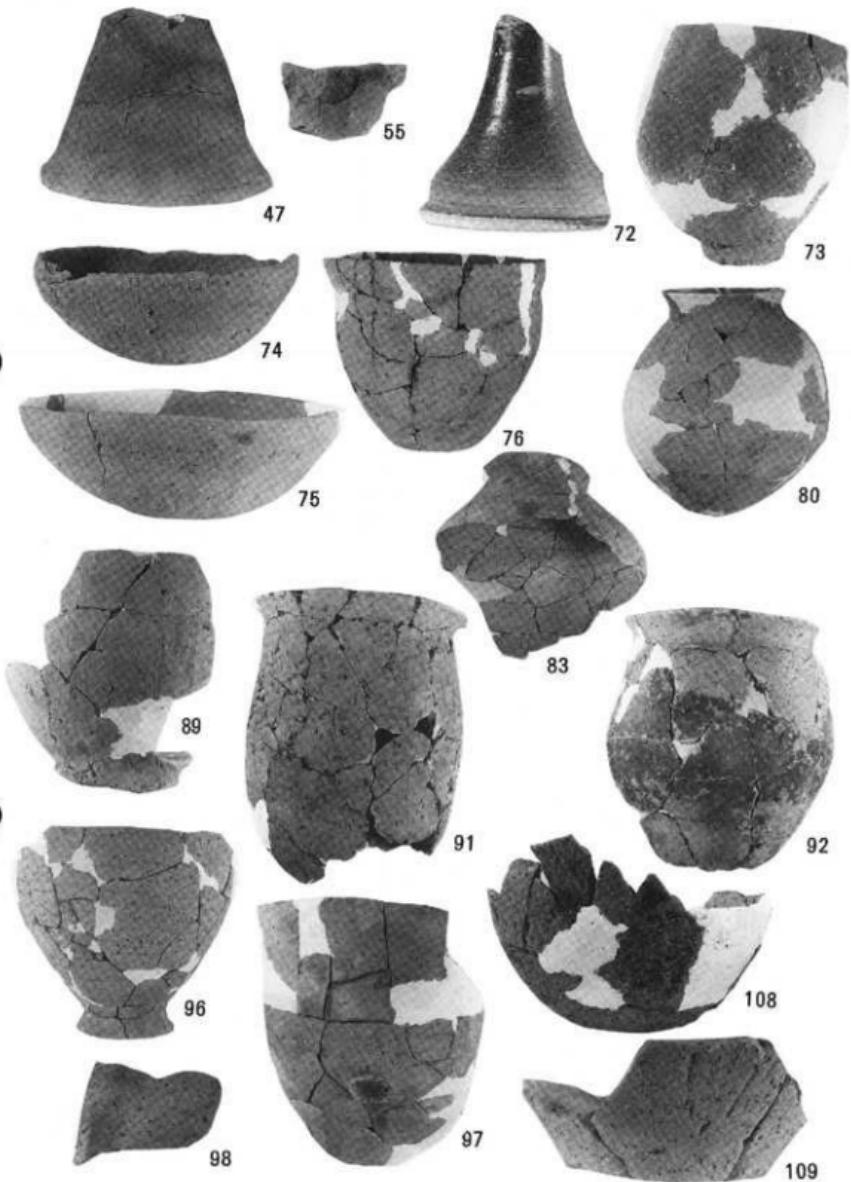


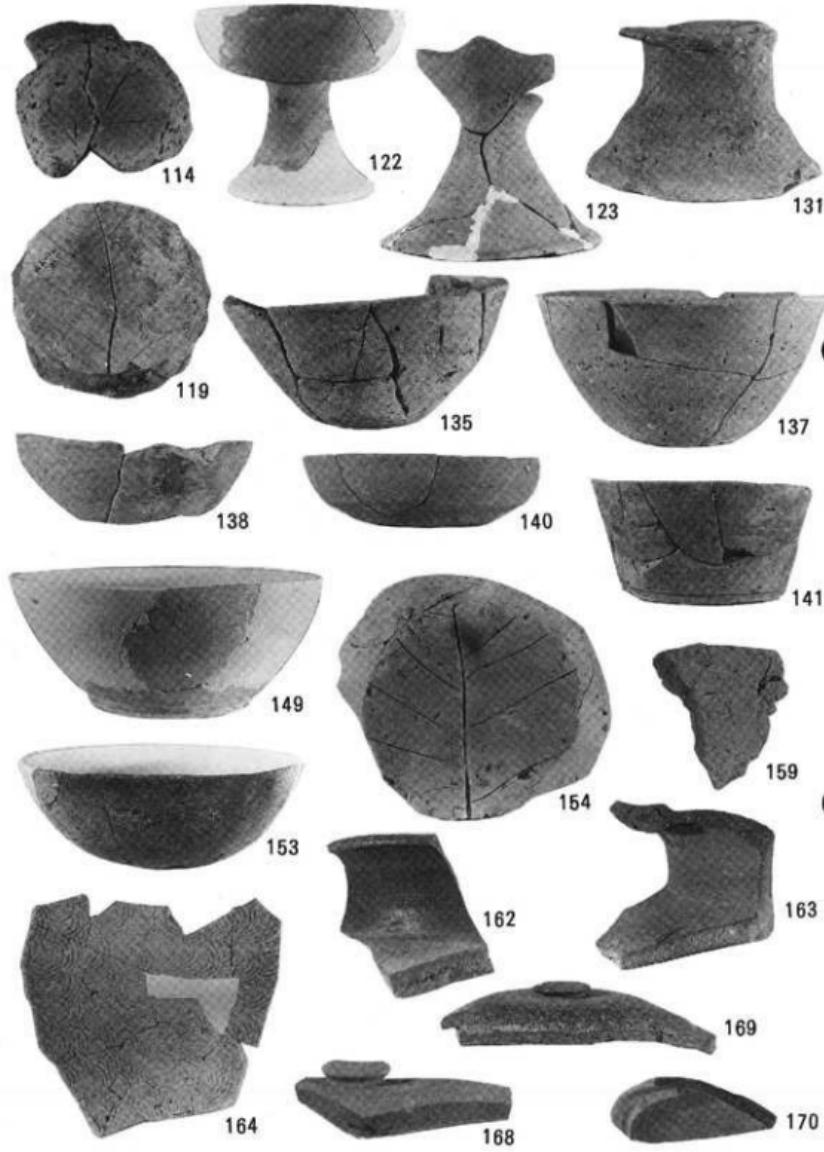
大型溝状遺構土層
(2区東壁)

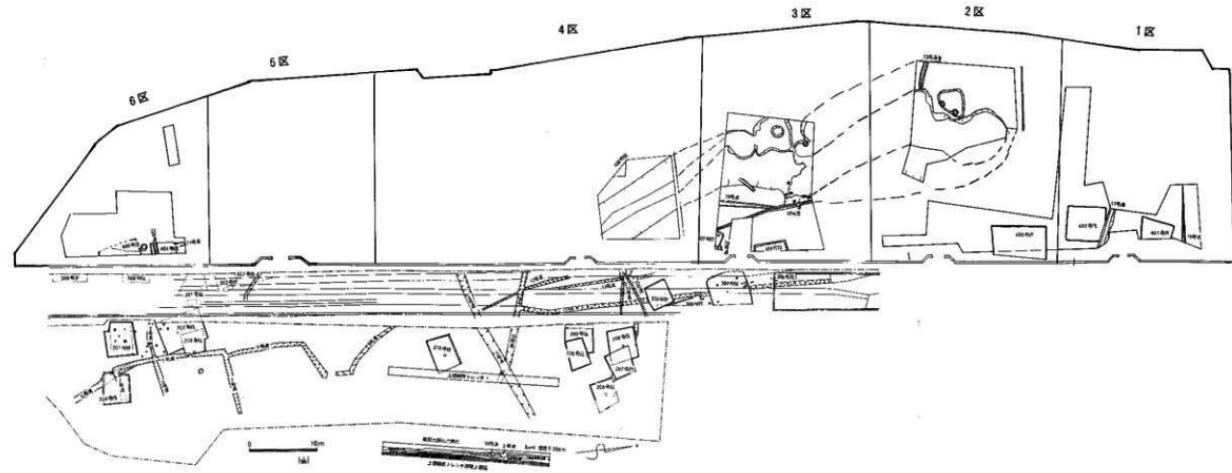


大型溝状遺構土層
(3区西壁)









淨土江遺跡 II

宮崎市文化財調査報告書

平成5年3月

編集・発行 宮崎市教育委員会

印 刷 宮崎紙工印刷株式会社

〒880 宮崎市木郷南方4045